花とゆめCOMICS

クロス・メモリー

ージェニーシリーズ 2ー

河惣益巳



花とゆめCOMICS

クロス・メモリー

—ジェニーシリーズ 2—

河惣益巳

花とゆめCOMICS

クロス・メモリー

—ジェニーシリーズ 2—

河惣益巳（かわそうますみ）





この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません。

■目次

クロス・メモリー……5
マハラージャ……65
HALF〈ハーフ〉……107
off―オフ―……167


現在アフガニスタンにいるようです
…何の話だ？スミス大佐
ヴィクトリアのことです！
ムジャヘディン達に加わってソ連軍と戦っているんです
だから何だと言うんだ？


…あなたはご心配ではないのですか？閣下…
いえお父さん！
あれは私の娘だ
おまえなどに言われるまでもないがなローリー


ジェニー・シリーズ5
ロスト・メモリー




レッド!
……
行け! お嬢ちゃん
ここは俺がくい止める!
あ…
う…ん…
ダメよ!! 助かるなら皆一緒よ!
…ニ…
隊長!!
早く連れて行け! ジョー
いいか!?
絶対死なすんじゃないぞ!!
行くんだ!! ジェニー
アルフレーッド
ジェニー
ジェニー!!


ジェニー!!
ジェニー！気が付いたか!?
…夢…
あ…
すみません 起こして悪かったですか？
イヤな夢…
ずい分うなされてたので…
…いいのよ…どうせもう交替の時間…
う…
ジェニー！
よりによってレッドの夢
大丈夫か!?
あんた顔色が悪いぜ
いいからねてろ！
見張りなら俺が…
ロバート何か薬…
平気だったら！
大丈夫よ…何でもないわ…！


なんでもないったら!!
ジェニー……?
本当に…大丈夫だから…
顔…洗って来るわ
あ…一緒に…
付いて来ないで
…ジョー
ジェニーの顔色は本当に悪いぞ
食事の時もあまり食べていないみたいだったし
何より神経が異常に張りつめてる
あの様子じゃあ最近…いいやアフガン入りする前からロクに眠ってないだろう


何かあったのか？
…なぜ俺にきくんだ？
トボけんのかよジョー
ネタは上ってんだぜ
先月ジェニーとどこへ消えていた!?
…何のことだ？
タイのバンコクまでは追えたんだそれから後だよ
まだシラア切るのかよ！
いくらあんたがジェニーと一番長いつき合いだからってなア
こーゆーのは許せねェな！
一体どこにいやがった!?
…俺だって…行きたくなんかなかったさ…


代わってやってもよかったんだぜ!!
おまえらの中にカンボジア武装地帯に詳しい奴がいたら
カンボジア!?
カンボジアに潜入してたのか!?
俺は反対したんだよ!!
でも…
仕方ないだろ
ジェニーが戻ると言うんだ
俺はついて行くしかないじゃないか
…そうさ
どんなことをしてでも止めるべきだったんだ
正気じゃない
あんな所へ…
だから見ろ
言わんこっちゃないんだ


あんなものを
引き連れて
きちまった
…つまり
ジェニーは
米陸軍時代
カンボジア戦場で
戦死した部下達の
幽霊に憑かれち
まった
——とこういう
ワケか？


幽霊なのか
どうかは
わからない
俺には見える
わけじゃないからな
みんな…
…だが
みんな…
ジェニーの
この数週間の
様子からすると
そいつらが
彼女を悩ましているのは
間違いないと思う
みんな…!!
おまけに
今夜は
レッドまで
出て来や
がった…
最悪だ
…!!
レッド!?
ああさっき
ジェニーが
うわ言で
呼んでた…
何者だよ
？
ジョー
それって
アルフレッド・
ロジャーズ少尉の
ことっスか？
カンボジア
戦線で戦死した
グリーン・
ベレーの…
知ってるのか？
チェスター
そりゃ…
俺だって
ついこないだまで
軍にいたんだから
「ジェニーと
レッド」ったら
有名っスよ


米陸軍じゃもう伝説的なカップルだ
チラ…
それが…
ジェニーの亭主か!?
え!?




だってこの前ジェニーが言ったろうが


「自分には
夫がいた
だがその夫は
死んだ」
「夫が死んだ時
自分も死にたいと
思った」ってな
それ程あいつは
その男を
愛していた
そういう
ことだろ？
…違う
…
レッドは
ロジャーズ少尉は
俺達の小隊の
副隊長だった
男だ
つまり
ジェニーの
片腕だったのさ
副隊長
…
軍じゃピカ一の
戦績で
彼らは
小隊指揮の
名コンビで
…あの二人が
組んでから
なんだ


俺達の隊が
軍きっての精鋭と
呼ばれるように
なったのは
じゃあ…
一体誰なんだ？
ジェニーの
亭主ってのは…
…
そんなものは
いない
ジョー？
ジェニーに
夫なんか
いない！
彼女は
結婚なんか
してない！


月夜に女が一人でいるもんじゃないぜ
ましてや裸でよ
よくやるぜ氷が張って雪も降ろうってこの時期によ
よくも心臓マヒ起さねェもんだぜ
どうだい？
へへへ…
つつ…
俺達があっためてやろうか？
おーや！


コルト・パイソン
357マグナムの
6インチ銃身か
すげエ
銃だな
だがよ
女に扱える
銃じゃねェ
よしなよ
ケガするぜ
どうせ
俺達に対する
威嚇と牽制の
ためだけのお飾りに
持ってんだろ？
ましてこごえてる
手じゃあな
そんな
物騒な
モンは
しまった
方がいい
へへ…
来なよ
俺達も
寒いんだ
お仲間と
離れて
一人になんか
なるから
あんたが
悪いん
だぜ


しかし現にジェニーが…
ドギューン
ドギューン
な…何だ!?
敵か!?
…いや違う!あの銃声は…
ジェニーのパイソンだ!!
うわあぁ…
この女…
ガズニ!バルク!おい!しっかりしろ!!
ヒイイ…


う…
ジェニー！
く…
ジェニーどうした!?
ジェ…

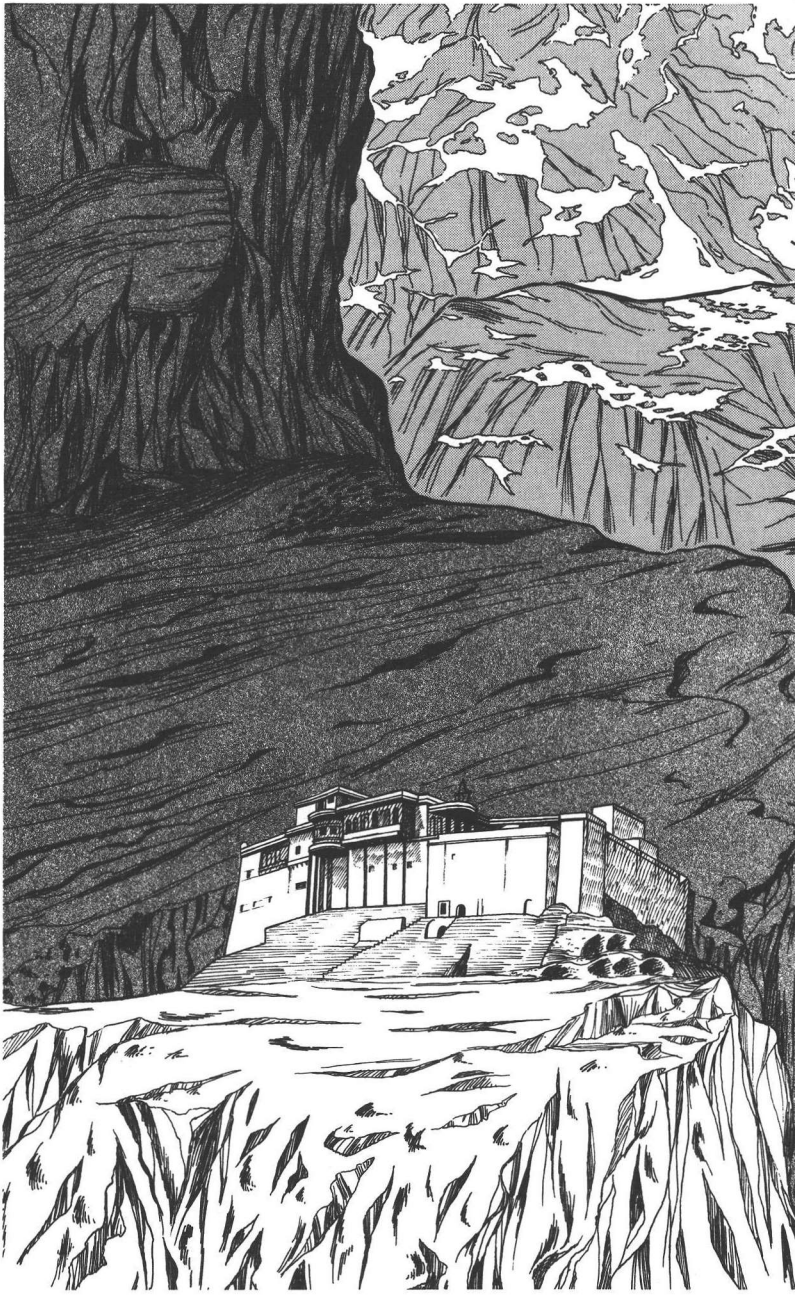

何があったか
一目見りゃ
わかるな
…ったく
バカども
がア…
ロバート
はい
その二人の
手当てを
お願い
大した傷では
ないはずよ
yes,
それから誰か
ジャナル大尉を
呼んで…
ラーラ!
レディ・
ジェニー!!
何事です!?
これは
キャンプ内での
発砲は…
大尉
すぐに兵達を
集めて
移動の準備を
今夜中に
ここを発ちます
ジェニー!?


え!?
さっき崖の上に人影を見ました
おそらくソ連側の偵察兵です
夜明けと同時に確実にここを襲って来るでしょう
ま…まさか…
信じる信じないはあなた方の自由です
もし不本意だとしても私の命令には従っていただきます
ここ ソビエト国境付近の最前線で孤立したあなた方を一人でも多く後方の解放区へ連れ帰ること
それが今回アフガニスタン・イスラム党本部から依頼された私の任務ですから


…ったく！
これのどこが大した傷じゃないんだよ
一人は片耳
もう一人は肩の肉そぎ取られてるじゃないか
…まあ357マグナムくらったにしては確かに軽傷だが…
しかしバカだねおまえらヒステリー中の女刺激するなんざ
うごくな
てっ
もっとそっとやれよ！
もっと!!
…言っとくがこの程度の傷で済んだことを感謝するんだな
もし本当にジェニーに手を出してみろおまえらエリーやジョー達に八ツ裂きにされてたぞ
しかも女が！片手でだぜ!!
男の俺にだってできないってのに
くそっ！あの女…
あの至近距離で本当に撃って…まして当たるとは思わなかったんだよ！


そんなこと当たり前だろうが
ジェニーの…
〝炎の月〟の愛銃がコルト・パイソン357マグナムだってことぐらいこの世界じゃ周知の事実だ
〝炎の月〟!?
え!?
あ…あの女が……
〝炎の月〟なのか？本当に……
知らなかったのか？
やれやれここは大した田舎らしいな
あの女が…
〝炎の月〟…
ユージェニーV・スミス
インドシナ戦線の英雄
密林の魔女
歴戦のコマンダー






ﾊﾝﾏｱｰ!!
戻って来たぜ
よォ! ジョー どうだった?
キ!!!
どうもこうも


ジェニーの言った通りさ！
空からやられてた爆撃機と戦闘ヘリでメチャクチャだ！
おそらくあのままあそこに留まっていたら全滅だったろうな
早めに移動して大正解だったわけか
ロバート！ジェニーはどこだ？
奥のテントでジャナル大尉と今後の作戦会議中
大丈夫なのか？今朝は発熱もしてたみたいだったが
並の女性とは違うが…弱ってる上に昨夜冷水なんかに入ったからな
本当は眠ってくれるといいんだが…
眠れないそうだ
夢でうなされて…

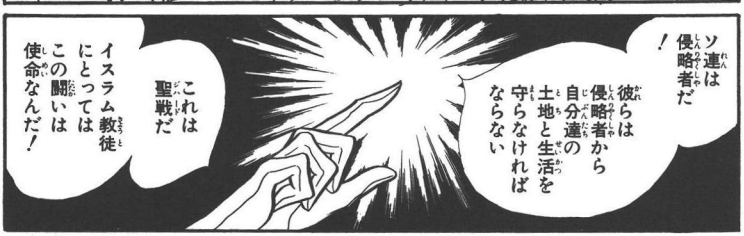

では 解放区へ 出るためには
この先の谷を 抜けなくては ならないワケですか?
そうです
…
他に道は?
ここと ここ…
迂回する道が 二本ありますが
険しい山道の上 雪も積もってますし——
この時期 ラクダや ラバも なしに 山越えは 不可能です
しかし 大尉
確かこの谷には ソ連軍三個中隊程が 駐留してると ききましたが
そうです おそらく 昨夜の偵察兵も ここからだと 思います
そんな所を ソ連兵がスンナリ 通してくれると お考えですか?


いえ…
南下・インド進攻政策のため
1979年12月27日より
始まったソ連軍の
アフガニスタン侵攻は
……
一時は一気に
アフガンを占拠
してしまうかとも
思われたのだが
世界各国のモスクワ五輪
(80年)ボイコットに
象徴される激しい批判と
ことのほか
アフガン国内
における
反ソ・反政府
ゲリラ達の
抵抗は強力で
ソ連は
今日まで
ズルズルと
彼らに
手を焼く
ことになった
加えて最近の
ソ連国内の
諸々の事情
により
ソ連軍は除々に
アフガン退却を
余儀なくされている
この間も
大きな
部隊が
帰って
行った
つい
先月の
ことだ
う…
だからと言って
アフガンから
一人残らずソ連兵が
いなくなった
わけじゃない
ゲリラ達の
闘いはまだまだ
続くのだ
ラーラ
?


どうしました!?
お顔の色が悪いです
ラーラ・ジェニー
平気です
それよりその二本の山道ですが…
ガキン!
ラーラ…
どうだ!? ロバート
…いいわけないだろう
肺炎を起こしかけてる
2 3日は動かさない方がいいだろう
じゃあしばらくここへ足止めか?
ましょーがないな


まあ
こんな所じゃあ
ソ連も見つけようが
ないだろうけどな…
ムタワシュ！
（気をつけーっ）
ハカラット！
（前へ進め）


…よくやるぜ…
こんな所でも訓練かよ
たまんねェ
仕方ないさ
兵士と言っても寄せ集めだ
司命官のジャナル大尉ですら学者あがりだ
イスラムの教義だけでは正規軍とは闘えない


ソ連は侵略者だ！
彼らは侵略者から自分達の土地と生活を守らなければならない
これは聖戦だ
イスラム教徒にとってはこの闘いは使命なんだ！


そしていずれソ連もそのゲリラ達に負ける運命にあるのさ
ジョー
合衆国のようにな
……
インドシナ戦線ってのはそんなにひどかったのか？
…ひどいなんてもんじゃない


ベトナムから
飛び火して
あっと言う間に
半島中に
広がっちまった
ハノイ
紅河
ラオス
カンボジア
ヴィエンティアン
プノンペン
ホーチミン
内容の凄惨さじゃ
ベトナムの比じゃなかったな
ジェニーの
髪を見れば
わかるだろう?
髪?
あの白い髪が
以前は黒かったのは
おまえ達も
知ってるだろう?
…ああ
白くなったのは
ジェニーの軍に
おける最後の
ミッション
少尉を
置き去りに
して来た
時のだ
置き去り
!?
…あの時は
仕方なかったんだ
殆どの隊が
全滅した
俺達の隊も
半分を失った
それでも半分
生き残れたのは
俺達にはジェニーが
いたからさ


大の男でも発狂しておかしくない戦場だった
女のジェニーがショックで白髪になっちまっても当然だろう
レッドの死亡は確認したのか？
いやだがあの戦闘で生きていられるわけがない
まして生きているんなら連絡が来ないはずがない！
…じゃあ本当にそのレッドってのはジェニーの亭主じゃなかったのか？
違う！
その男が死んだのがジェニーの髪が白くなった一番の原因なんだろう？
だって…
そりゃ…
彼らは別の意味で特別な関係だったからな
特別な関係!?


…何と言うか
その…
二人はとてもよく
似ていたんだ
性格とか
容姿とかじゃなく…
何か…
もっと深い所で
ある奴が
こう言ってたな
「レッドの
血のような赤毛と
ジェニーの
闇のような黒髪は
まさに泥沼化する
インドシナの
象徴だ」…とな

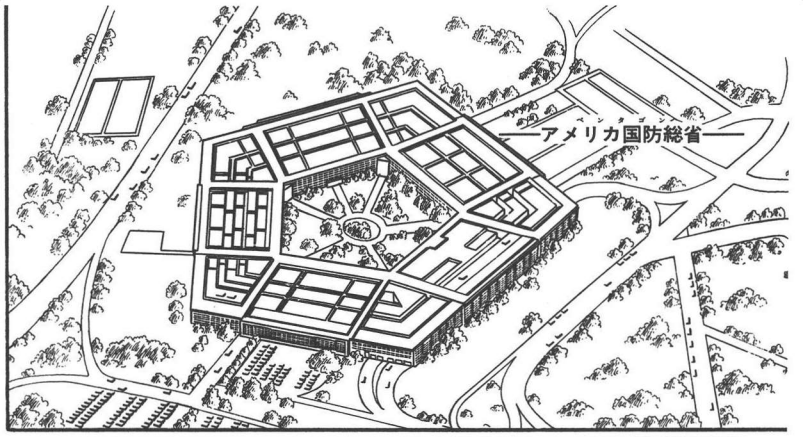

赤毛!?
赤毛なのか!?
そいつは!?
…ああ
アルフレッドと
いう名も
そうだが
その髪のせいも
あって「レッド」と
呼ばれてたんだ
まさか
「エビル・レッド」
とは
言わないだろうな?
「魔の赤」!?
ああ
さっき
ムジャヘディン
達に
聞いたんだがな


ソ連軍の中に
腰まである程の
燃えるような赤毛の
男がいるんだと
そいつはこの数年
国境付近の殆どの
戦闘の指揮を
していて…
相当の
凄腕らしいぜ
そいつのおかげで
ゲリラ達は
何度も手ひどい
痛手をこうむって
いて
だから
「魔の赤」と
呼んでいるそうだ
ロジャーズ
少尉が
生きてる!?
まさか
…
…いや
赤毛の男なぞ
この世に
いくらでも
いる…
う…ん
ん…


みんな…
ずい分と優しい顔をしてるのね
初めて気がついたわ…
何…？
何か私に言いたいの？
…いいわよ
何でも聴くわよ
恨み事でも何でも
私の義務だわ…
だってあなた達を死なせたのは私
みんな…還って来たわよ…
そして先月カンボジアで呼び出したのも私だもの…
何でも…


あなたは…！
あんたが悪いんだぜラーラ・ジェニー
俺達に恥をかかせるから
おかげで俺達はいい笑い者よ
あんたのせいだ
だからこれは
誰か…
みんな…
みんな！
目には目を
歯には歯を…ってな
う…
体が動かないっ!!
ぎゃあああ…


どうした!?
ジェニー
てめぇら…
性懲りもなく!
ジェニーから離れろ!
さもなきゃブッ殺すぞ!!
ジェニー…
ジャナル大尉を呼んで!
こんな時のイスラムの掟がどんなものか
ジェニー!
俺に殺らせろ!!
アフガン人はアフガン人に任せるのよ!
いいえ!
ダメよ
彼らはよくわかっているでしょうから


——アメリカ国防総省——




スミス大佐！
アフガン国境付近のソ連軍が動き出したって!?
ええ
ご命令通りここ数週間目を離さずいましたが


見て下さい
偵察衛星からの映像です
つい先程から動き始めました
かなり大きな移動です
トリア…
君がそこにいないことを祈るよ
そうか
わかった…
やれやれ…
おまえはいつも仕方のない奴だな
お父さま…
ヴィクトリア


チィ！


どうやってここを見つけたんだ!?
完全に死角に入ってる谷だってのにくそォ!!
ラーラ・ジェニー
ガズニとバルクが逃げました!!
なんだと!?
おそらくここをソ連側へ知らせたのは彼らではないかと…
多分違うわ
いいえ!
あの二人が知らせたにしては攻撃が早すぎる
ジェニー!?
もっと早くに発見されたはずよ
もしかしたらこの前と同じ奴かもしれないわ
大尉! 兵達を集めてグズグズしてたら全滅よ
こうなったら仕方ないわイチかバチか
出るわよ!


これが…
は…
はい
さっきまで熱にうかされて弱々しく横になっていた女性だろうか!?
まるで別人だ!!
ひえ…
ウジャウジャ戦車がいやがるぜ!
まるで谷中埋めつくしてるみたいだ


あの中をつっ切るのかよォ
正気じゃないな
残りたければ残ってもいいのよ
ここで死にたいなら…ね
ひでェ
いいこと？
一人でも多く敵を倒そうとか一つでも多く戦車を爆破しようとか…
そんなことは一切考えるんじゃないのよ！
自分の命が助かることだけ考えなさい!!
し…しかしラーラ・ジェニー
我々はムジャヘディンです！
敵に後ろを見せて逃げるわけには
誰が死ねと言ったの!!


今ここで
あなた達が
闘わなくたって
いずれソ連は
この国から
出て行って
くれるのよ！
ここから逃げて
再び時を待つことが
卑怯者のすること
だと思ってるの
!?
バカなこと
言わないで
!!
あなた達の
今しなきゃ
ならないことは
生き延びて
後方の同志達と
合流すること
よ!!
ムダ死には
許さないわ
！
アラーの神が
許したって
この私が
許さないわ!!
私と
一緒に
…
生きて
還る
ことよ
…！
いいわね
!?
ラーラ
……
生きて…


ジェニー
彼らだって
あなたと一緒に
生き還りたかったんです
でも…
GO!!
ソ・ビエト軍基地
なんだとオ!?
あのムジャヘディン達の中に〝炎の月〟がいるだとォ!?
本当か!?それは
は…はい
レッド?
そうと知ってれば…
あの中にジェニーが…
攻撃なんかさせなかったってのに!
ジェニーがいる!!


これだけ敵味方入り乱れちまえば空からの攻撃ができなくて助かるな
Oui
おっとエリー前！
Ja！
ジュリアン


ジェニーはどの辺だ？
さあ…これだけゴッチャになってちゃどこにいるんだか
ジャナル大尉と一緒のはずだが…
あの男かァ…
ク
ク
ク
あんまり頼りになりそーにないな
まーな
うわっ


うう…
大尉！
大丈夫です！
あと少しです！
あの森に入ってしまえばソ連軍ももう手出しは…
ラーラ
逃げて…


ジャナル大尉…
カッ
カッ
カッ
カッ!!
大尉…
ラ…ラ…
彼らを頼みます…
必ず…生きて…
後方の仲間達のところへ…
あ…なた…
な…ら
大…
きっと…
き…


大尉…
私…
生きてる…
あの機関銃で撃たれたら
いくら大尉がかばってくれてもムダなのに
なのに…
こんな程度のキズだけで…


私を助けて……
あなた達が助けてくれたの……？
ま…さか…
ジェニー！
ジェニー！
ラーラ・ジェニー!!


ロバート！
弾が肩とワキ腹で止まってる！
こいつを出さないとな
私の荷物を取ってくれ
それと誰かジンかウォッカを持ってたら…
おう…あるぜ
すぐに済みますガマンして下さい
ジェニー麻酔もモルヒネもあいにくありません
…ええ
ラーラ・ジェニー…
心配ないわ
ロバートは元医者よエール大をトップで出た優秀な外科医だわ


…街へ帰ったら整形移植してから
跡も残らなくしてあげますから
今はここまでにしてカンベンして下さい
Thanks
男でも痛みで気絶してるだろうに
うめき声一つ立てずによくもまあ…


…ジョー
はい？
みんな私を恨んでいないのかしら…？
え!?
彼らを死なせたのは私なのに…
みんなみんな私の作戦ミスで死んでいったのに
なのに…
カンボジアで隊の仲間を死なせてしまったことへのジェニーの負い目
その負い目が見せる幻覚…
なぜみんな私を取り殺してしまわないのかしらね
いっそその方がずっと楽なのに
…俺達は…
あなたを守るためだから闘えたんです
…なぜなら


この女は優しいから…
祖国のためでもない
ましてやインドシナの社会主義国家廃絶のためでもない
〝炎の月〟などと呼ばれ
闘いの申し子のように言われる反面
あなたがいたからあの戦場にいたんです
この人が俺達に見せた命懸けの優しさがどれほどあったろうか
今
あなたが生きていてくれるなら それが一番の望みなんです
あなたに死なれたらあいつらはそれこそムダ死になんです
ただ 先月あなたがカンボジアに顔など出したから
だからこそ俺達はあなたを愛せたんだ
連中つい嬉しくてアフガンまでついて来ちまっただけですよ
眠って下さい
さあ
目をつぶって
ジェニー
そう…
ジェニー…

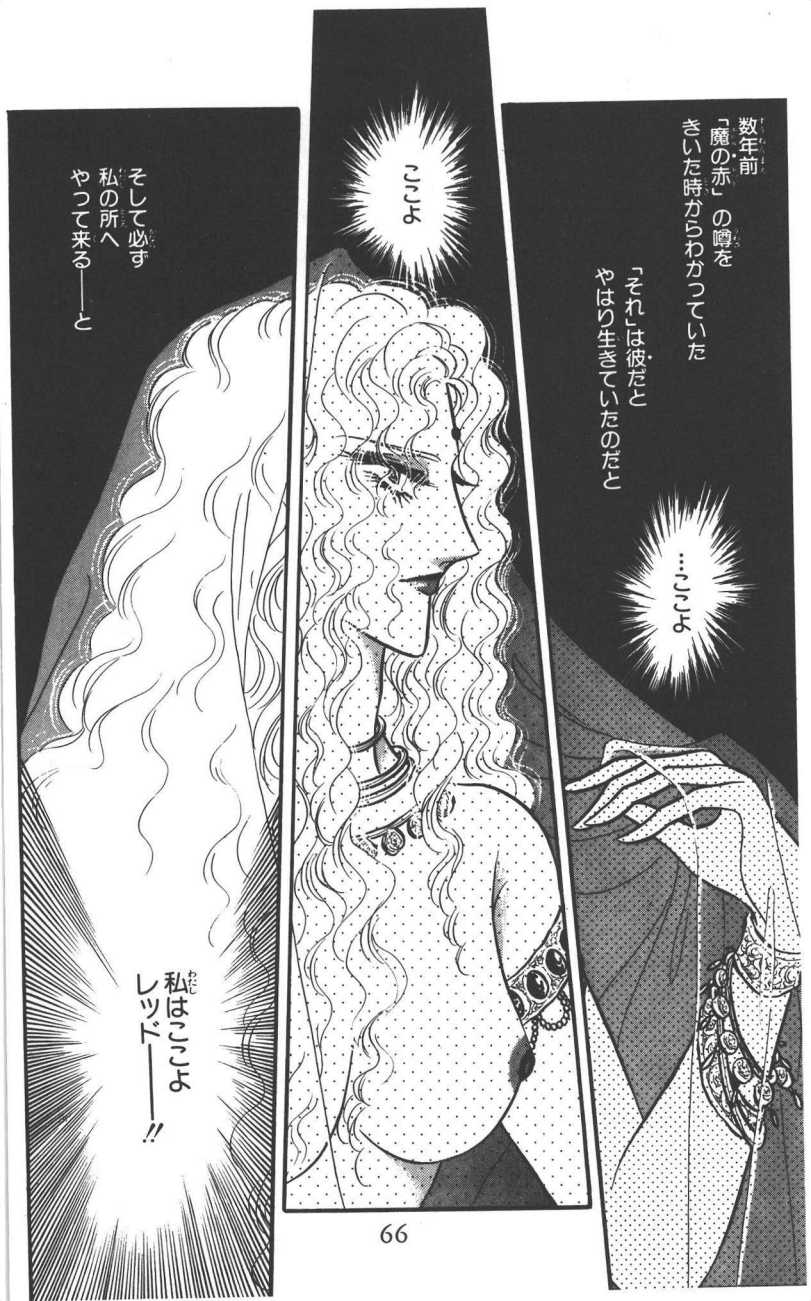

ここだよ
ホレ
おやま
バカ野郎！
静かにしねェか!!
ジェニーは!?
…無理ねーよな
俺達にだってきついミッションの連続だ
よくついて来てるよ
きっといいトコのお嬢さまだろうによ
何を好き好んでこんな戦場なんかに志願したんだろうな？
いいトコの…って言ったのか？こいつが自分の素性を
きかなくてもわかるさ物腰・言葉遣い…極上の階級に属する人間だ
おそらく本国にいたら俺達みたいなクズは近寄れもしない…


でも…ま
いいさ
戦場にいる間は
俺達のものだ…
レ…
レッド!?


どこへ行く気だ!?
アルフレッド・ロジャーズ!!
ニヤ!
どこへ行こうと勝手だろうが!
俺の傭兵としてのソ連との契約はとっくに切れているんだからな
髪を…
切ったのか?
ジェニー
おまえに再び会うためだけに
やっと念願が叶ったんでな!!
俺は今日まで生きて来たんだ——!!
あぁ!

クロス・メモリー／おわり


ジェニー・シリーズ6
マラージャ

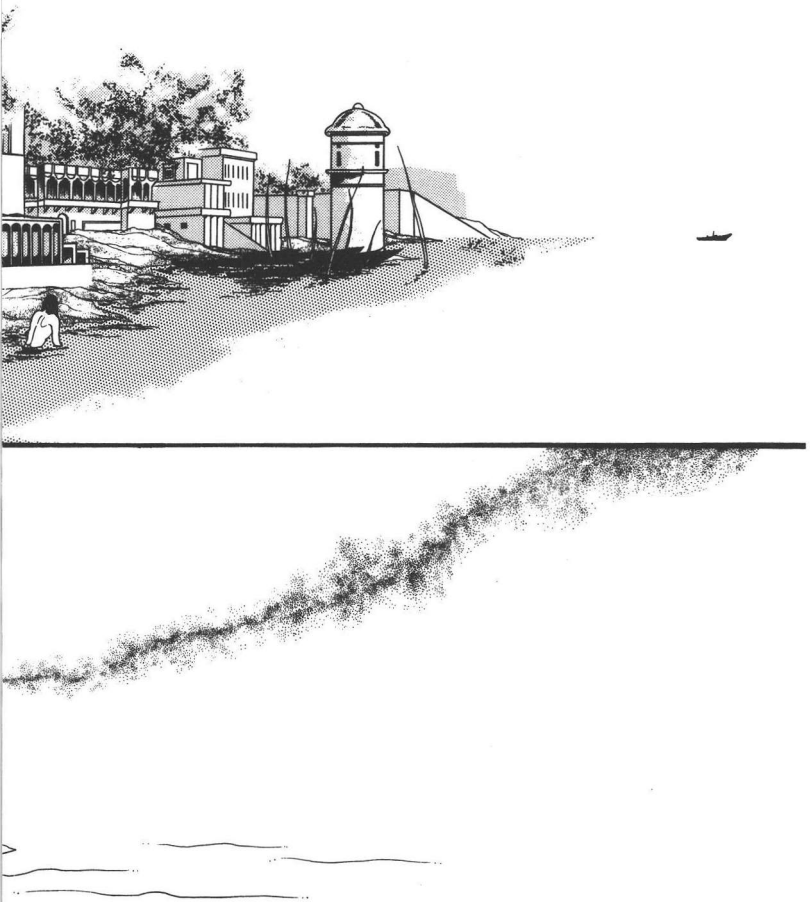

数年前
「魔の赤」の噂を
きいた時からわかっていた
「それ」は彼だと
やはり生きていたのだと
…ここよ
ここよ
そして必ず
私の所へ
やって来る——と
私はここよ
レッド——!!


さて…と
インドはあっちだな


待ってろよ
ジェニー
もうすぐだ
！



── インド
ヴァーラーナスィー ──
（ベナレス）






ジェニー
ジェニー
ナマスカール
ナマスカール
今日は
ナマスカール


ジェニー？
ヒソヒソ…


ジェニー!
わっ!
何だよ!
その格好
あんたまた
ガンジス河畔の
大衆沐浴場へ
行ってたな!?
一体一日に何回
水浴びすりゃ
気が済むんだ!!
フロなら
ここにも
あるだろーが
やめて下さい!
あんな不衛生な
所へ行くのは!!
もし
変な病気でも
……
仕方ないでしょ
あそこが一番
人間が集まる
んだから
このベナレスは
ヒンドゥー教徒達の
聖地で
一年中インド各地から
巡礼者がたえないわ
情報を集めるのも
散らすのも ガートは
もってこいの所ね
情報!?
ジェニー
戻ってますか?

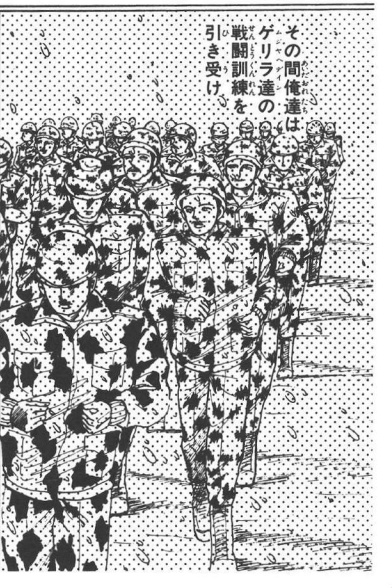

ついさっき届きました
ワシントンからの定期便ですよ
シャワー浴びて着換えて来て下さい！
それまでおあずけです!!
かして！ジョー
ダメですよ！
そんな濡れた体で
ジョージ!!!
きいてんのか？ジェニー
なアジェニー
いつまでここにいる気だよ


昨年暮れ俺達がソビエト・アフガン国境から首都カブールへ引きパキスタンのペシャワールへ戻って来たのは殆ど雪と同時だった


ジェニーが負傷していたのと
アフガニスタン・イスラム党からの強い希望もありそのままペシャワールに留まって一冬を過ごすことにした


ロバートは慢性医者不足の難民キャンプと病院へ
動くな！
元医者


ジェニーは傷を治しながら看護婦として手伝い
ニコ
看護婦資格所持
？


その間俺達はゲリラ達の戦闘訓練を引き受け

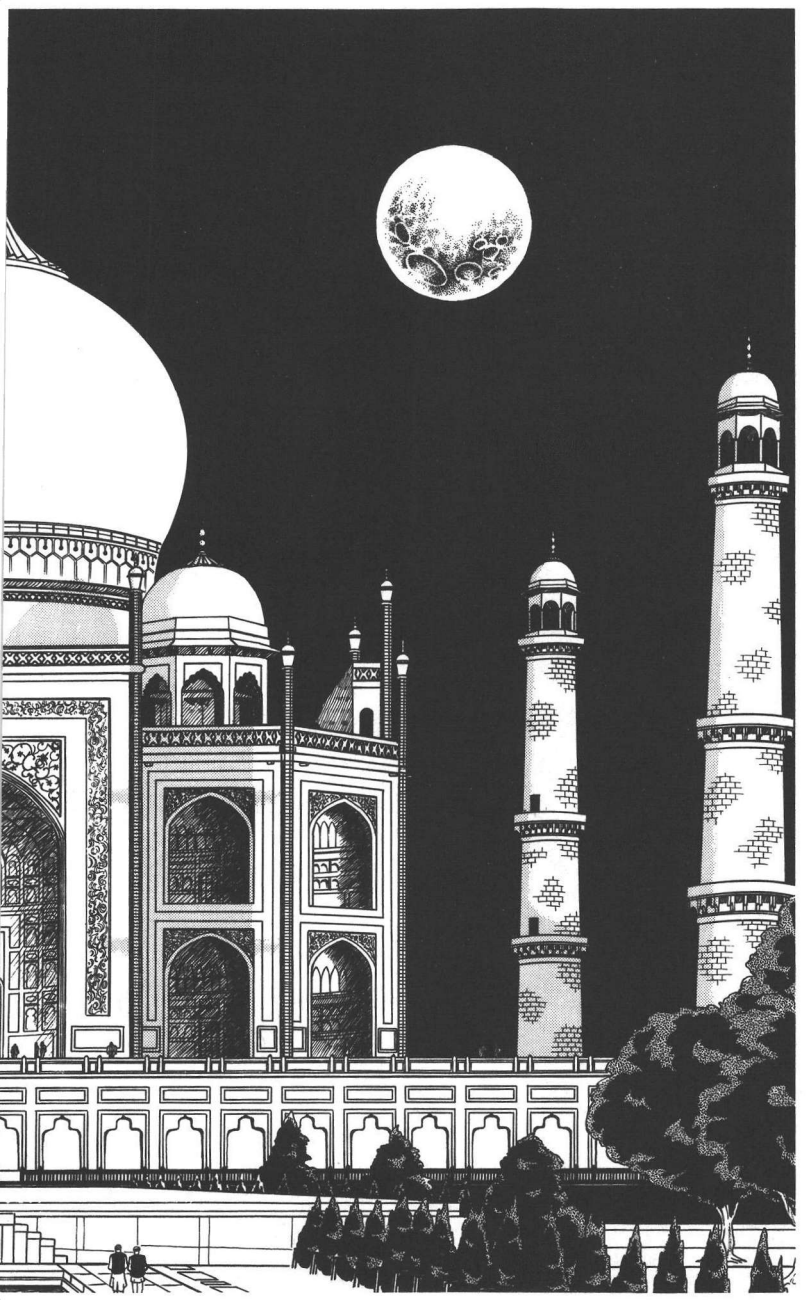
そして
雪解けを待って
インドへやって来た…
一月!!
そのまま
ズルズル
もう一月だぜ!
仕事を
するって
ワケでもなし!
依頼主に
会うでもなし
!
なんだって
こんな所に
居るんだよ
!!
あんた何
考えてんだ
!?
気に入らな
ければ…
あなた達は
好きに
すれば
いいでしょう
私は居てくれ
なんて
頼んでないわ
出て行こうと
別に
止めなくてよ
な…
ジェニー
……?

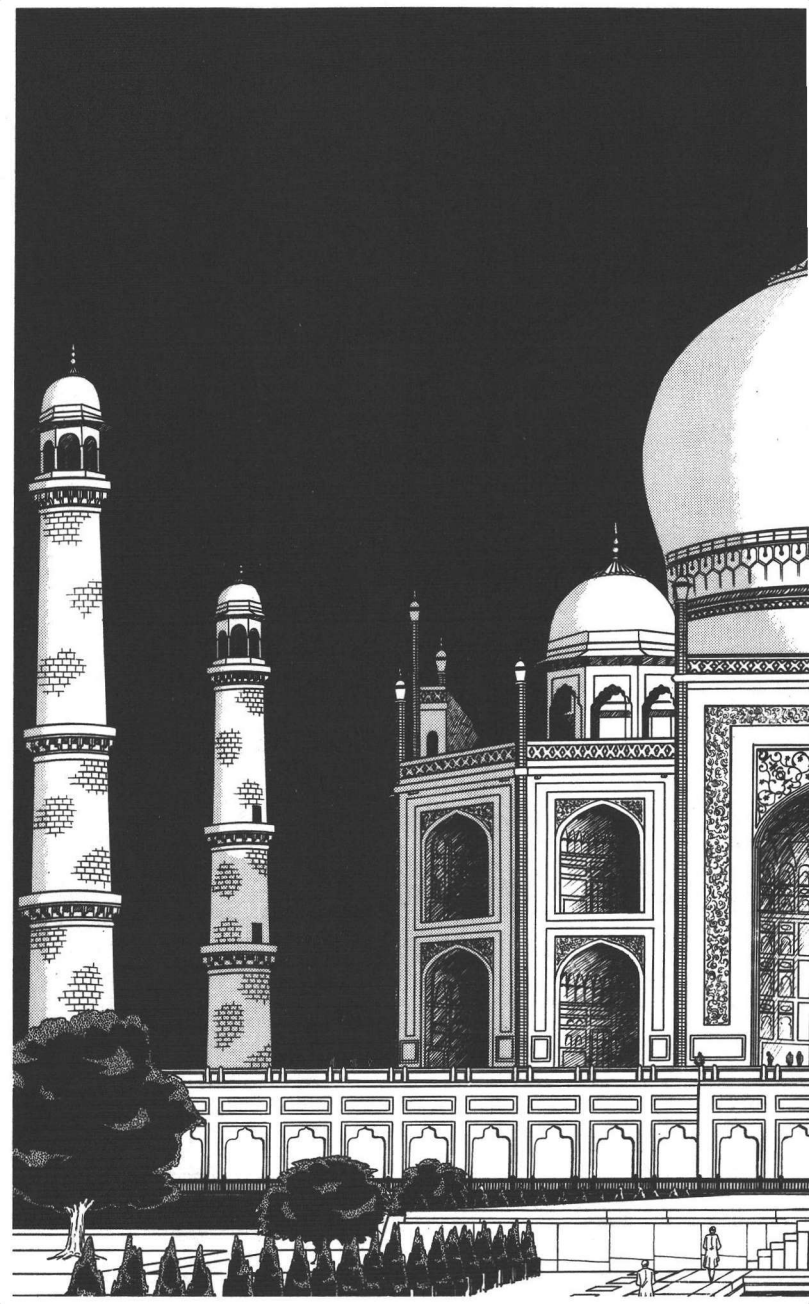

戦地や
余程の僻地を
除いて
二週間以上
一か所に滞在が
続くと
必ず届く
兄からの手紙
今回は
これで
3通目…
——Dear
My Victoria——


手紙の内容はいつも同じ…
私の身の心配と
ノース・アーリントンの家の近況報告
父のこと母のこと…
嫁いだ姉達のこと…
そして…
そしていつも最後には一言…
帰っておいで……
帰っておいで
ヴィクトリア……
もうすぐノース・アーリントンの館は萌える若葉で包まれる
そうしてすぐに夏は来る
君の好きな鮮やかな深緑に色を変える
春だ


お父さま――!!
ローリー
ローリー
君の瞳と同じ…
深く濃いみどり色に…
帰っておいで
トーリア
…あら?
何?
これ…
いつもと違うラスト
ローリー
どういうつもりで…


今度の満月っていつかしら？
…ねェ…
へ!?
満月…って
そーいやここんとこ丸かったな
えーと待てよ
陰暦
陰暦
あったあった
え…と満月は…
…ああ今夜です！
今夜…






お兄さま！
ト…リア…？


ローリー?
ヴィクトリア……!?
……いや…
ムムターズ・マハールが廟から生き還ったのかと思って…
…覚悟はしてたが
白い髪になった君に会うのは初めてなのでね…
私が…?
正直言って見分けられるかどうか自信がなかったよ……


…実際君が声をかけなかったら気がつかなかったかもしれないな
はは…情けないな…
自分の妹もわからないなんて…
…いや…
そんなはずはないな…
私が君をわからないなんて…
そんなはずはない
元気そうだヴィクトリア
来てよかったよ
ローリー…


いくら満月の日は夜もこのタージ・マハールは開放されてるとは言え…
これってあんまりじゃない？昼間は俺達に出て行けなんて言っといてさ
…ったく…自分は男と逢引きたァ……許せねェ！
誰だよ!?あの男は初めて見る顔だぞ！
まさかあいつのせいじゃねェだろーな!?
…おいおいあんまり失礼なこと言うな
ジェニーがこのインドを動かねェのは！
あの人はリチャード・ローレンス・スミス…
今の階級は大佐…だっけ
スミス大佐!?
あの男が!?
ジェニーの実の兄上だ


兄妹…って
ホントかよ
…？
信じらんねェ…
全然
似てねーじゃねーか！
ジョージ
…ああ
俺も初めて
会った時は
そう思ったが…
軍にいた頃も
何度かジェニーを
訪ねて来た…
金髪碧眼の
超エリート
当時は
ジェニーの髪は
まだ黒かったから
余計 異和感を
感じたな…
そして
あの男が
妹を訪ねて来る
理由はいつも
たった一つだった…
…戻って
来ないか？
ノース・
アーリントンへ


…わざわざそれを言うために休暇を取ってまでインドにいらしたの？
手紙では足りず？
君がこういう所にこうも長い滞在は初めてだから…
それもあるが…
今回どうも気になってね
何か…あったのか？
何も…
私で力になれるなら…
ただ自分の勘が正しいのかどうかを知りたいだけ…
勘…？
私はねお兄さま
家を出てからこっちこの勘だけを頼りに生き残って来ました
それを今確かめてるんです
何をしようってわけではないの
ただ待ってるだけ祈ってるだけ
だから心配しないで
…いいよ
危険なことでないならね
君の好きにおし
フフ…
どーも…兄妹ってよりむしろ…


何かこう…
ムカムカしねェか？
…する
俺も
俺もだ
あれが兄貴つーんじゃなかったらブチ殺してやってるところだぞ！
…お父さんがね
インドに行きたいから休暇をくれと言ったらずい分スンナリと許可を下さったよ
お父さまが!?
何も言わなくてもわかっておられるようだったよ
私が君に会いに行くってことを
…それはそうだろう…
この兄にさえ私の居所が割り出せるのだからあの父にわからないはずがない！
私はきっと今でもあの父の手の内なのだろう
君の所に行って来るからと言って来たよ
おそらく世界中のどこにいても…
どんなに逃げおおせたと思っても…
母さんにも…


それでも
逃げずには
いられない
お母さまに
!!
お母さま…
何て…
何も
あ…
いや…
君に
よろしくと
無理しなく
てもいいわ
お兄さま…
トリア…
お母さまが
私を気遣うはず
などないもの


伏せてっ！
ジェニー
危な…
トリア
！
ジェニー
!!

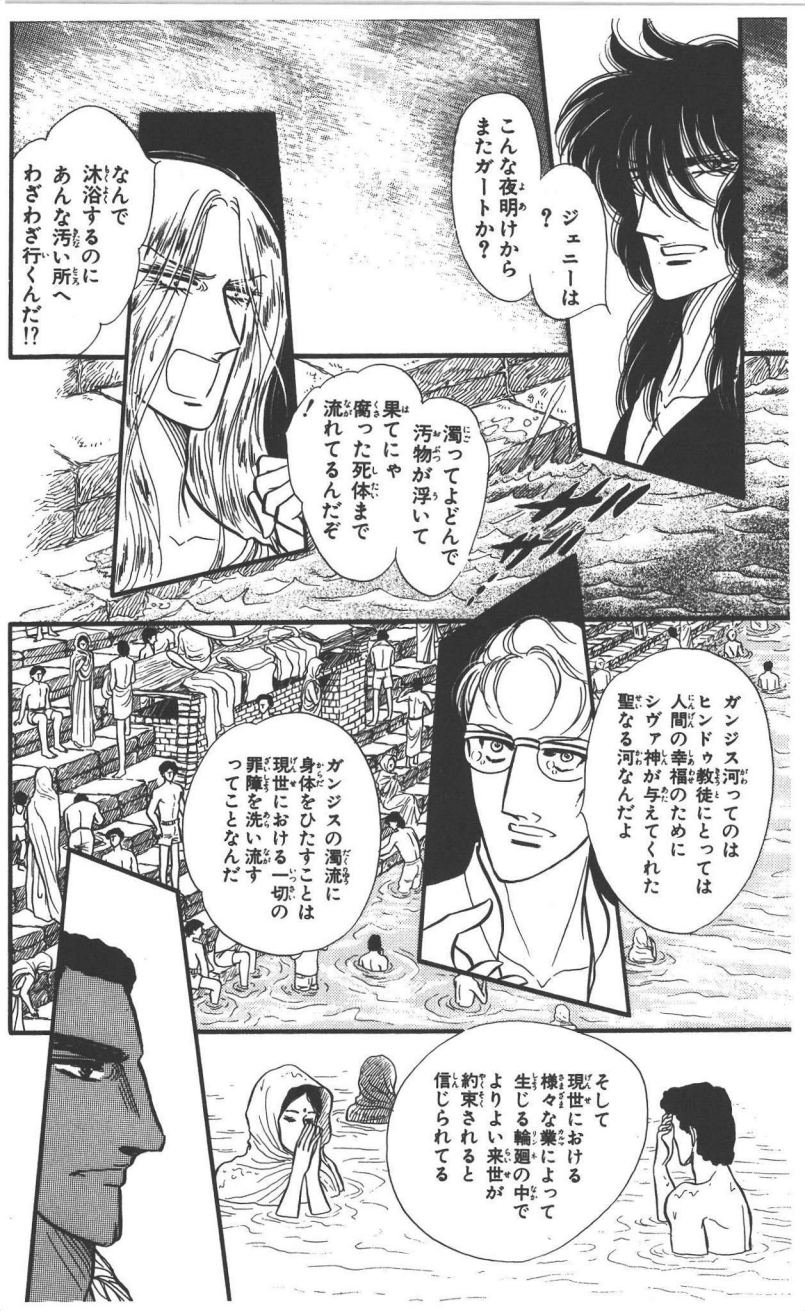

あの茂みだ!!
両方から廻れ!
チィ!
逃がすな!
捕まえるんだ!!
ジェニー!
大丈夫ですか!?
…ええ
肩をほんの少しかすっただけよ
…そうね
しかし
少しでも伏せるのが遅かったら
確実に心臓をアウトでしたね
ああ
本当だ
私を狙った……?
あなた達がいてくれて助かったわ…


そんな
バカな
――!!
すまない
ジェニー
逃げられたの
？
ああ
囲んで
追い詰めたんだが
河に飛び込まれちまった！
だが
その前に
2
3発は確実に
ブチ込んで
やったから…
あのまま
水の中じゃあ
すぐに失血で
死んじまうはずだ
きくけど
…
確かに
私を狙ってたの？
兄じゃなく？
…
おかしいわね…
ああ
間違いない
トリア
？


私を殺したい人間ってのは多分大勢いるでしょうけれど…
それならチャンスはこの一月山とあったはずだわ
誰？
私がここに来たのはローリーが呼び出したから
なにもわざわざこんな所まで追ってこなくたって…
ここでローリーが私と会うことを知っていたのは……
ローリー 私に会いに来ることをお父さまとお母さま以外にお話しして？
…いいや
お父さまが私を殺そうとなさるはずはないわ 絶対！
…ということは…
まさか…
…そういうことみたい…


お母さま…
きゃ…
お母さん！
トリア…
何をするんです!?
その子を私に近付かせないで！
けがらわしいっ!!
そ…その黒い髪…
みどりの瞳…
あの男にそっくりで…
悪魔の持ち物よ！
見ているだけで気が変になるわ!!
こんな子産まなければよかったわ！
死んでしまえばいいのよ!!
お…かあさ…ま…
…母に疎まれてるのは解っていた…
お母さん……!!
憎まれてるのも知っていた…
でも…


トリア…
これほど恨まれてるとは思わなかったわ……
…大丈夫気にしてません
…お母さま……
これはあんまりですね……
絶望することにはもう慣れたわ…
…そうよ

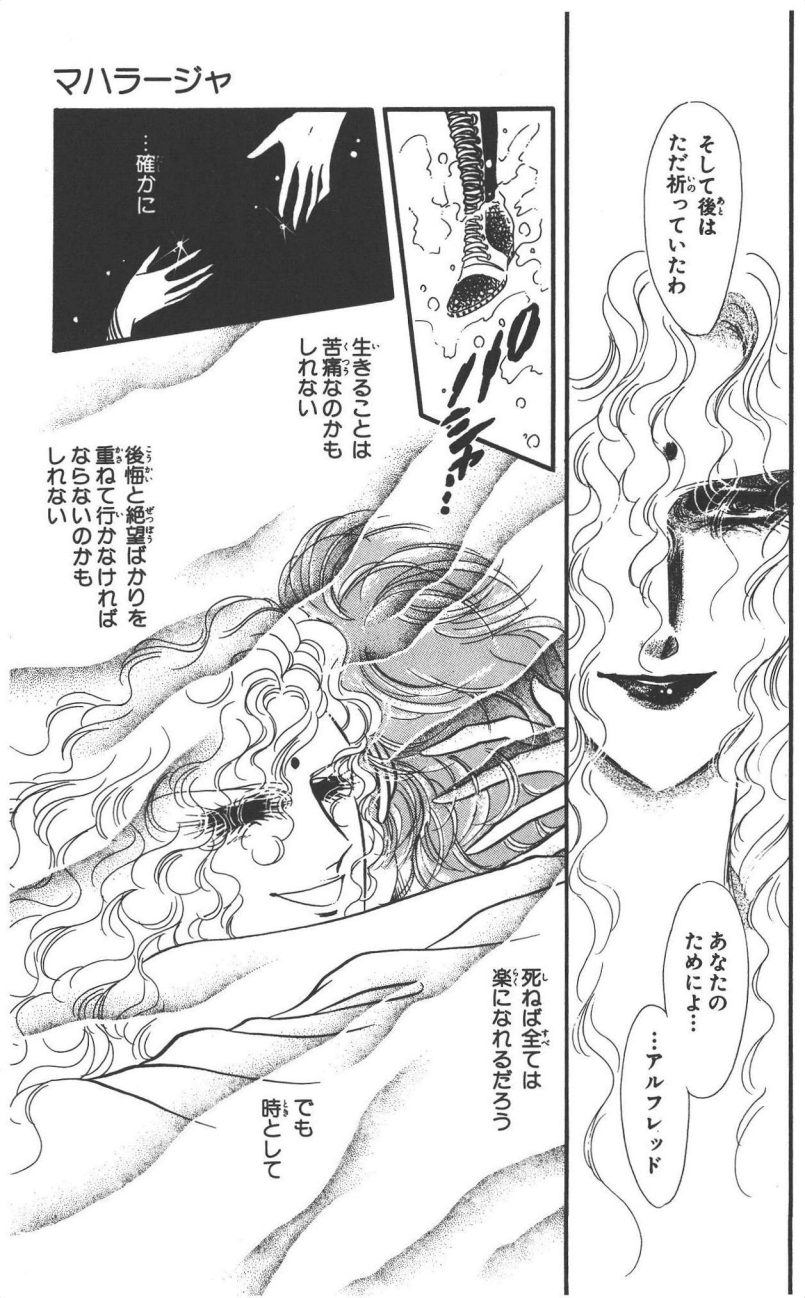

ジェニーは？
こんな夜明けからまたガートか？
なんで沐浴するのにあんな汚い所へわざわざ行くんだ!?
濁ってよどんで汚物が浮いて果てにゃ腐った死体まで流れてるんだぞ！
ガンジス河ってのはヒンドゥ教徒にとっては人間の幸福のためにシヴァ神が与えてくれた聖なる河なんだよ
ガンジスの濁流に身体をひたすことは現世における一切の罪障を洗い流すってことなんだ
そして現世における様々な業によって生じる輪廻の中でよりよい来世が約束されると信じられてる


ジェニーは
ヒンドゥー教徒じゃ
ねェぞ
「郷に入らば
郷に従え」という
言葉がある
それぞれの土地には
それぞれの信仰の型って
モンがあるんだ
だが
祈ることには
変わりない
おそらく
ジェニーは
祈ってるんだ
…そう
誰のためにか
何のためにか
知らない
ヒンドゥーの
型を借りて…
祈ってる…


この国の人々は
生は苦しみ
死はそれを
解き放つ
のだと言う
だから
精一杯生きて
老いて死ぬことは
おめでたいことなのだと
では
あの密林の中で
若くして
死にたくもなく
死んでいった
人間もそうだと
言うのだ
ろうか…？
できるなら
一人でも多く
助けたかった
一人でも多く
生き延びて
欲しかった
一人でも
…
ッ!!
…ったく
お嬢ちゃんの
水浴び姿なんて
昔はしょっちゅう
のぞき見してた
はずなのに
いくら
黒髪じゃ
なかった
からって
なんでその後ろ姿
アフガンの時
わかんなかったん
だろうな？


なんて顔してんだよ
ユーレイじゃねーぜ俺は
…そんなことは知ってるわ
ユーレイの頭数の中にいくら見回してもあなたの顔はなかったから
ソ連国境からカブールへ引き上げる途中よ
「魔の赤」がソ連軍を抜けたと聞いたのはね
だから情報集めながらペシャワールで一冬待っていたのに
何してたの？今まで
しょーがねーだろ


ソ連がしつこくて
なかなか
離してくれな
かったんだよ！
そーこーしてる
うちに冬に
なっちまって…
で
どうしたの？
一個中隊
ブッつぶして無理矢理
おン出て来たんだ
!!
おかげで
逃げ道全部
ふさがれて
わざわざ迂回して
ヒマラヤ沿いに
インド入りよ
遅れたのは
俺のせいじゃねぇ
！
雪解けまではガマンしたさ
それ以上は限界だ
特に〝炎の月〟がインドに発ったときいてからは尚更な!!
どちらの方角から来るかわからなかったわ
だからインド中にバラまいて行かなきゃならなかった
私がここに居るってことをあなたがちゃんと知るようにね
俺は一日でも早くおまえに会いたかったってのに!!
…そうよ


そして後は
ただ祈っていたわ
あなたの
ためによ…
…アルフレッド
ハァ…
…確かに
生きることは
苦痛なのかも
しれない
後悔と絶望ばかりを
重ねて行かなければ
ならないのかも
しれない
死ねば全ては
楽になれるだろう
でも
時として


ずい分と色っぽくなったなジェニー
ジェニー?
ジェニー!
もう「お嬢ちゃん」なんて呼べやしねェ
生きていればこんな喜びに出会える
レッド……!!
ロジャーズ少尉!?



マハラージャ／おわり



そりゃあ
凄エ黒髪だったぜ

小さな巻毛の
一房までが
濡れたみたいに
艶を放って…

長ければ
もっと見事
だろうと
思ったな

実際 昔は
背中を覆うほど
伸ばしていたそうだが

え？
それがどうして
その時は
短かったのかって？

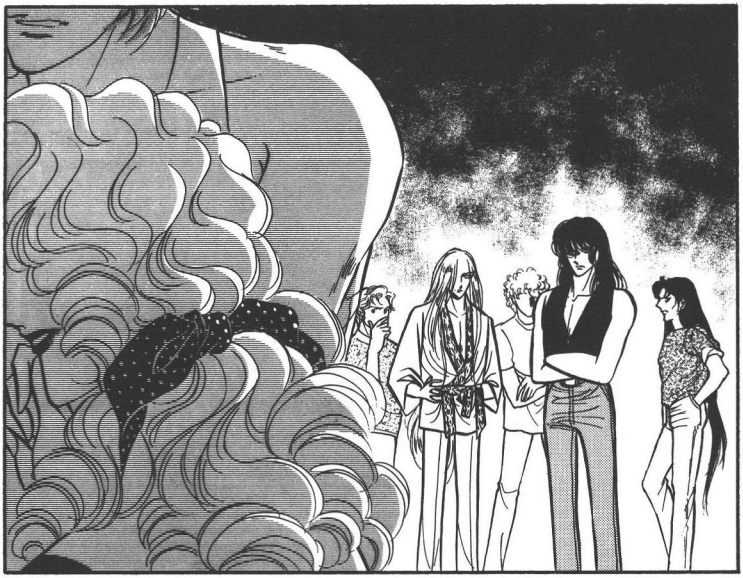
そんなことまでは
知らねエよ

なんでも
16の誕生日に
切っちまったんだとさ

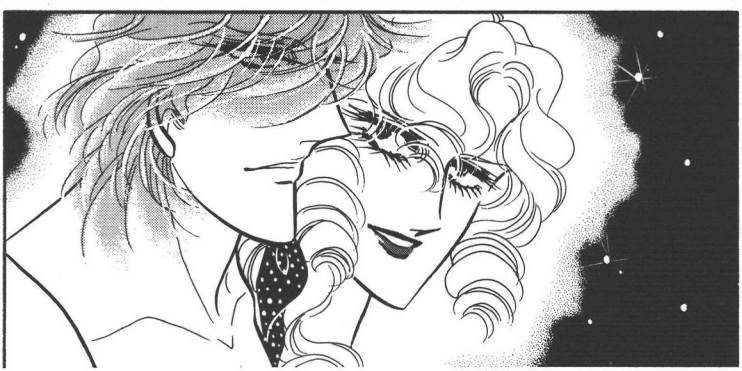


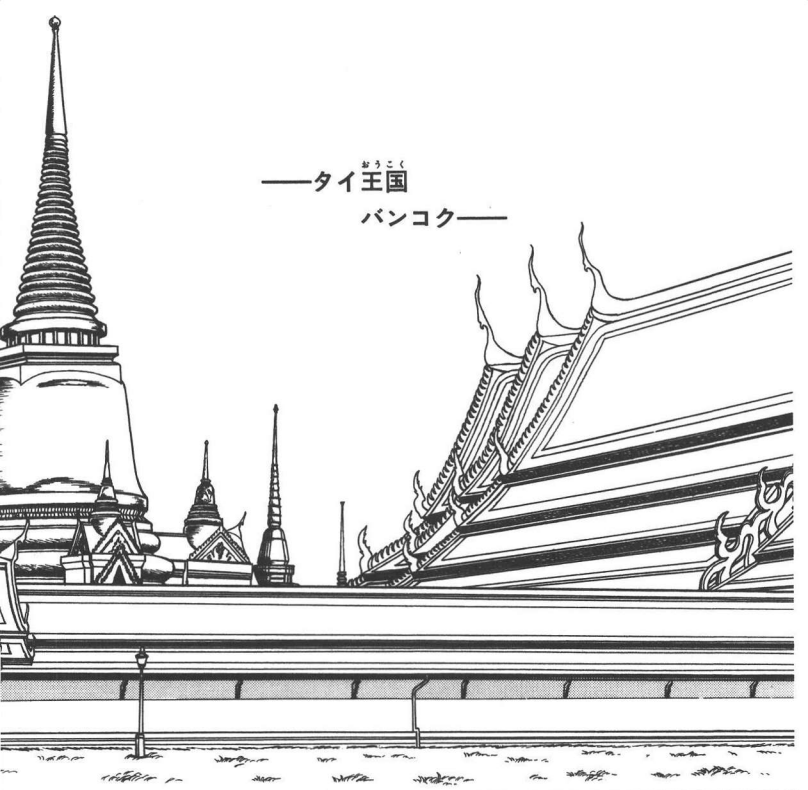

ジェニー・
シリーズ7
[ハーフ]
HALF


問題なのは
こことこの個所
どうやって
通過するかよ
いやそれより
いっそ
上空から…
こっちのルートを
迂回したらどうだ?
この東の
ダメよ
危険が
大きすぎるわ
それくらいなら
こっちでやるわ
それじゃあ
時間がかかり
すぎるぜ
仕方ないわね
それから…








——タイ王国
バンコク——




U・S・A
ジャクソン・グループ
ジャクソン産業
バンコク支社
その新聞記事を憶えておいでですか？
レディ・スミス

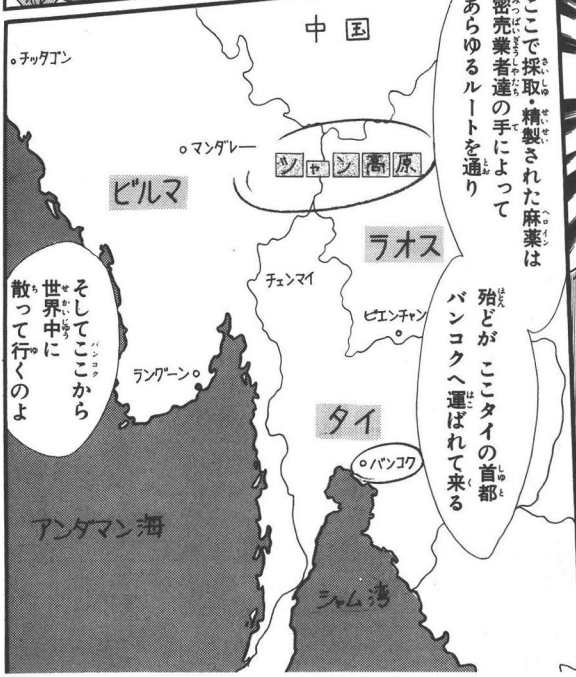

28. NOVEMBER. '86
ジャクソン・インダストリィ
バンコク支社長誘拐さる
…半年前
このジャクソン産業のバンコク支社長
フランク・A・ジャクソン氏が突然何者かに連れ去られた事件ですね
でも…
この事件は確かまだ…
そうです 未解決のままです
誘拐されたフランク氏はジャクソン・グループの一族の方だそうですが…
原因は何ですか？ 営利？ それとも怨恨
犯人の正体は不明のままと発表されていますが
どちらかと言えば営利… しかし目的は金ではありません
それに犯人の正体も居場所も解っています


でしたら警察に…
…レディ・スミス
率直に申し上げれば
あなたにお願いしたい
のはフランク氏の
救出なのです！
私に人質交換の
現場に立ち会えと
言うのですか？
それとも
犯人との
交渉を…
いいえ
!!
力ずくで
奪い返して
いただきたい！
力ずくで…？
…詳しくお話を
おきかせ願えますか？
一体何者から!?

〝黄金の三角地帯(ゴールデン・トライアングル・ゾーン)〟

東部ビルマ
北部タイ・ラオス
3国に跨る
シャン高原一帯を
こう呼ぶわ

芥子の花揺れる
悪名高い
麻薬栽培地帯よ



ここで採取・精製された麻薬は
密売業者達の手によって
あらゆるルートを通り

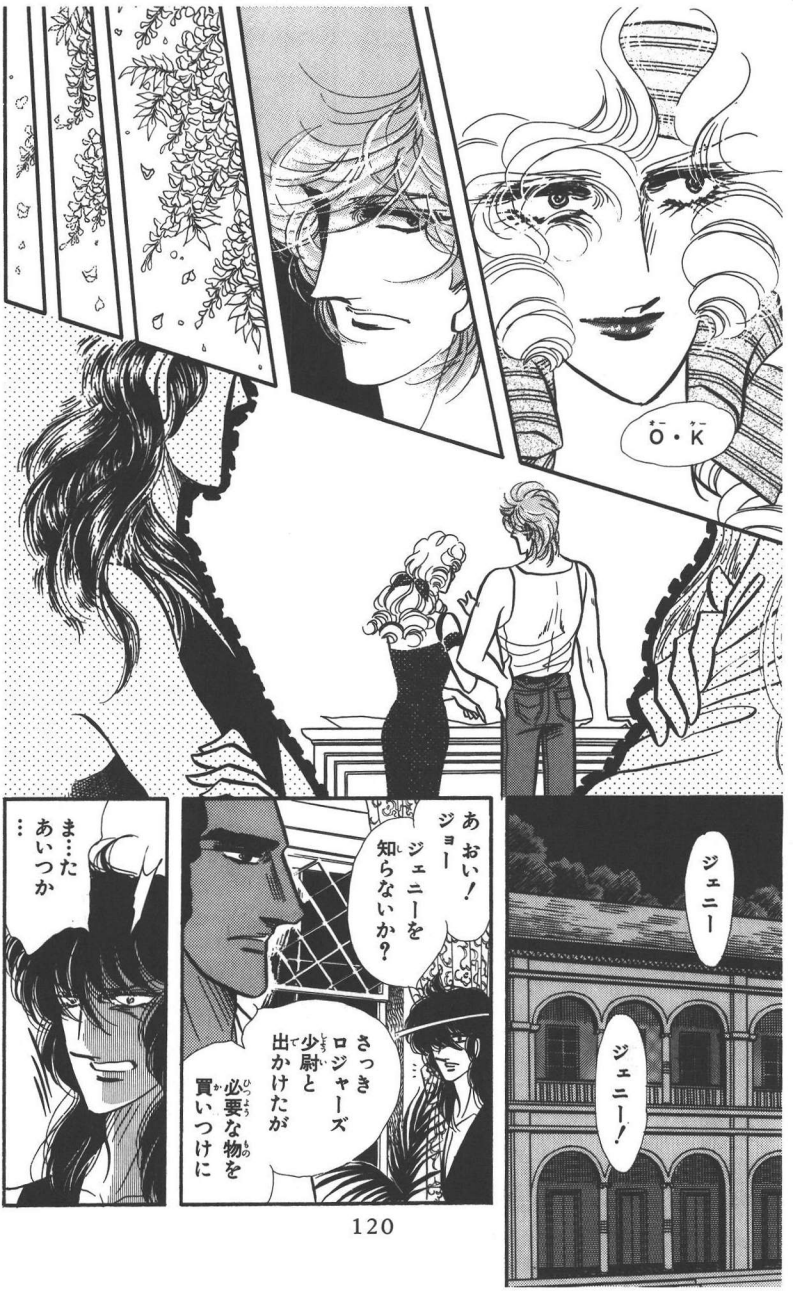
殆どが ここタイの首都
バンコクへ運ばれて来る

そしてここから
世界中に
散って行くのよ


タイ政府と警察は
昔からこの密輸業者に
手をやいていて
この数年は特に
軍の手を借りて
取り締まりを厳しく
しているの
タイ駐留の
アメリカ軍の
協力も
あおってね
米軍の
……!?
おかげで
目を見張る
効果だそうよ
輸送途中の荷の
検挙率が一気に
5倍にハネ
上ってるわ
勿論 逆に言えば
このことは
密輸業者側には
大変な痛手になる
そうして
早急な打開策
として奴らは
フランク・
ジャクソン氏を
誘拐したのよ


合衆国のジャクソン・グループは巨大複合企業体よ
特に中でも丘器産業を扱うジャクソン重工業は米軍部と密接な関係にあるわ
だから密輸業者側はジャクソンの一族の一人を人質に取ってアメリカ軍側からタイ政府へ取り締まりをゆるめるようにと要求して来たのよ
しかしタイ側はそれをしなかった？
そう…
それどころかここぞとばかりに引き締めたらしいわ
だったらもう殺されてんじゃないのかその人質さんは
いいえ生きてはいるそうよ
ロイヤル・エージェンシーの調査によるとね


ロイヤル・エージェンシー？
何だ？そりゃ
ロンドンにある誘拐事件などの犯人との調停を専門にしている機関よ
世界中のありとあらゆる所にコネがあってね
接触できない相手はいないんですって
ローマ法王からソ連書記長まで
ジャクソンも最初はここへ依頼したのよ
そして半年経っても犯人と話がつかないので
遂にゴウをにやした…か
降りるのなら今の内よ
無理にとは言わないわ
だァれが!!


O・K
ジェニー
ジェニー！
あおい！
ジョー
ジェニーを
知らないか？
さっき
ロジャーズ
少尉と
出かけたが
必要な物を
買いつけに
ま…た
あいつか
…


おい！ジョー
あの二人本当にどーゆー関係なんだよ!?
普段は仕事以外は俺達やおまえでさえ避けるようなジェニーなのに！
あの男…
あのアルフレッド・ロジャーズという奴だけは違う
ベナレスで再会して以来ジェニーが片時も側から離さない
あの野郎もまるでそれが当たり前って顔してジェニーの横にいやがる
今回の作戦だって…


だから以前俺が少尉は特別だって…
だからどう特別なんだよ!?
あのォジョージ…
チェスター?
あの…
俺ちょっと気になることがあるンスが…
気になること?
何が?
その…
まさかとは思うンスが…
ロジャーズ少尉はまだ…
…え!?
なぜこんな仕事を引き受けた?


え？
なぜこんな不利な仕事を引き受けたんだ!?
……
戦争屋の傭兵が受ける話としてはおかしくないと思うわよ
相手は「ヘロイン軍団」だぞ!!
麻薬密輸で儲けたありあまる金をつぎ込んで最新鋭の近代兵器を備えた私兵軍だ！
つまり俺達と同じ一流の傭兵達さ!!
レッド？
いいや！
まだ戦争やるってならいいさ
だが今回は人一人助け出すだけ!!
その最強軍の中から！
内緒で！
こっそり！
なぜだ！
…成功報酬に目がくらんだのよ


成功報酬？
何だそれは？
…言えない
ジェニー！
まだ言えないのよ
……
…わかったよ
おまえが望むなら…
それよりジェニー
この店…憶えてないか？
え？

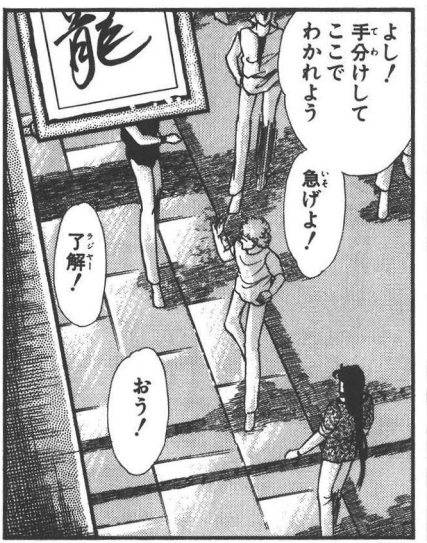

…ああ！
軍にいた頃 休暇もらって隊の連中とバンコクへ遊びに来たことがあっただろう
あの時入った店だ
現在でもアメリカ兵の出入りが結構あるみたいだな
そりゃひでェ隊長だ
だろ？おかげで俺達の隊はジャングルで…
ホラ！今入って来たのなんか陸軍らいしぜ
アメリカ兵…
出ましょう！レッド
ジェニー？
いいから早く!!
ジェニー…？


2ND FLO


くそっ！
一体ジェニーとあの赤毛野郎はどこにいるんだよ!?
こう人が多くちゃ…
もしチェスターの話が本当だとしたら大変だぜ！


おい！チェスター
おまえ自身は大丈夫なんだろうな!?
まさかおまえも…


俺はちゃんとウェストン少佐がうまく手続きしてくれました
大丈夫っス
自分で確認もしたし


よし！手分けしてここでわかれよう
急げよ！
了解！
おう！


ジェニー…
おまえ…
何もきかないんだな…
…何を？
カンボジアの戦場で別れて以来
どうやって助かったのか…とか
どうしてソ連軍なんかにいたのか…とか
きいて欲しいの？
…いいわよ
それであなたの気が楽になるのなら


あの後…
おまえ達と別れた後共産ゲリラどもに捕虜にされたが
何度も何度も脱走した
その度に捕まって手ひどい拷問を受けたよ
最後に捕まった時には本当に半殺しの目にあって
さすがの俺ももうダメかなと思ったんだが…
その時変なおっさんが来て言ったんだ…
…レッド
アルフレッド・ロジャーズ少尉だね？
グリーン・ベレーの
だ…れだ…
あんた…
君のような優れた戦士がこんな所で死にたくはないだろう
その能力を我々のために使ってはくれないか？
そうしたら助けてあげよう
功績次第で自由にもしてやろうじゃないか


どうかね？
それは
ソ連軍からの
迎えだった…
それで
「yes」と
言ったのね…
そうだ
俺は死にたく
なかった…
生きて
もう一度
おまえと
会いたかった…
そのためなら
どんな汚いマネも
できた
他人に何と
蔑まれようと
かまわなかった
俺はどうしても
生きのびて
再びおまえに
会いたかったんだ
……!!


生きていてくれて嬉しいわ…
アルフレッド…
…本当よ
おまえだって…あれからひどい目にあったんだろう…？
え？
この髪だよ
あんなにすげェ黒だったのに
もう二度とそんな想いはさせない


俺が傍に
還って来た以上
レッド…
絶対に
させない…

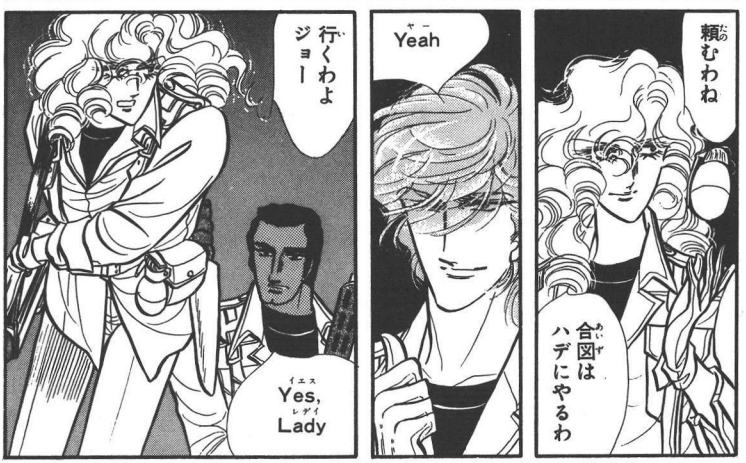

す…げェ
……!!
村ごと一つ
要塞だな
まさに
「国家の中の国家」か


加えて
天然の地の利
こいつを
おとすには
一個大隊でも
足りないんじゃ
ないか
黙って
忍び込むには
ホンの数人で
足りるわ


ジェニー…？
とにかく夜ね
それまでは動けないわ
誰か一人
そうね…
ジョージ
Yes,
一緒に来て

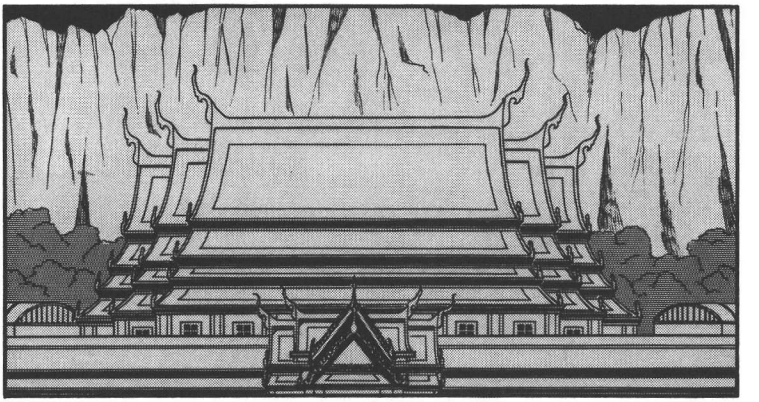

おい ジェニー！
俺達は!?
あなた達は ここに残って レッドの指示に 従ってちょうだい
彼に任せて あるわ


あいつに…!?


頼むわね
合図は ハデにやるわ
Yeah
行くわよ ジョー
Yes, Lady


Good Luck
ジェニーは
ああ
言ったが
俺達は
あんたの命令
なんか
きく気は
ないからな
指揮官気取りは
よしてくれよ
え!?
アルフレッド
ロジャーズ少尉


あんたなんぞ認めない！
合図があれば俺達が中に助けに行く！
口出しはやめてもらうぜ!!
…そうかい
じゃあ勝手にやりな
ただし
そんなことしたらジェニーもおまえらも一人も生きて帰れないぜ
く…



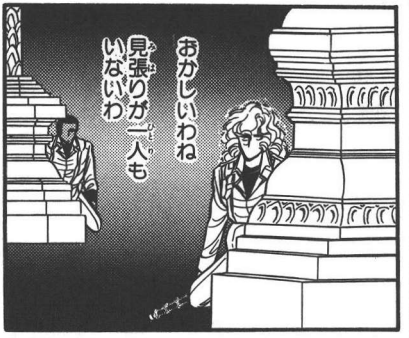






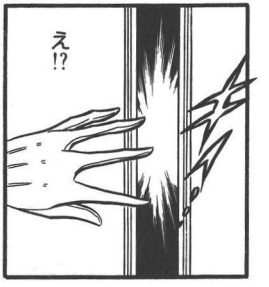

どうした!?
ぐあっ
ぐっ
う…
Mr.(ミスター)フランク・ジャクソンはどこ!?




おかしいわね
見張りが一人も
いないわ






え!?


鍵もかかってない!

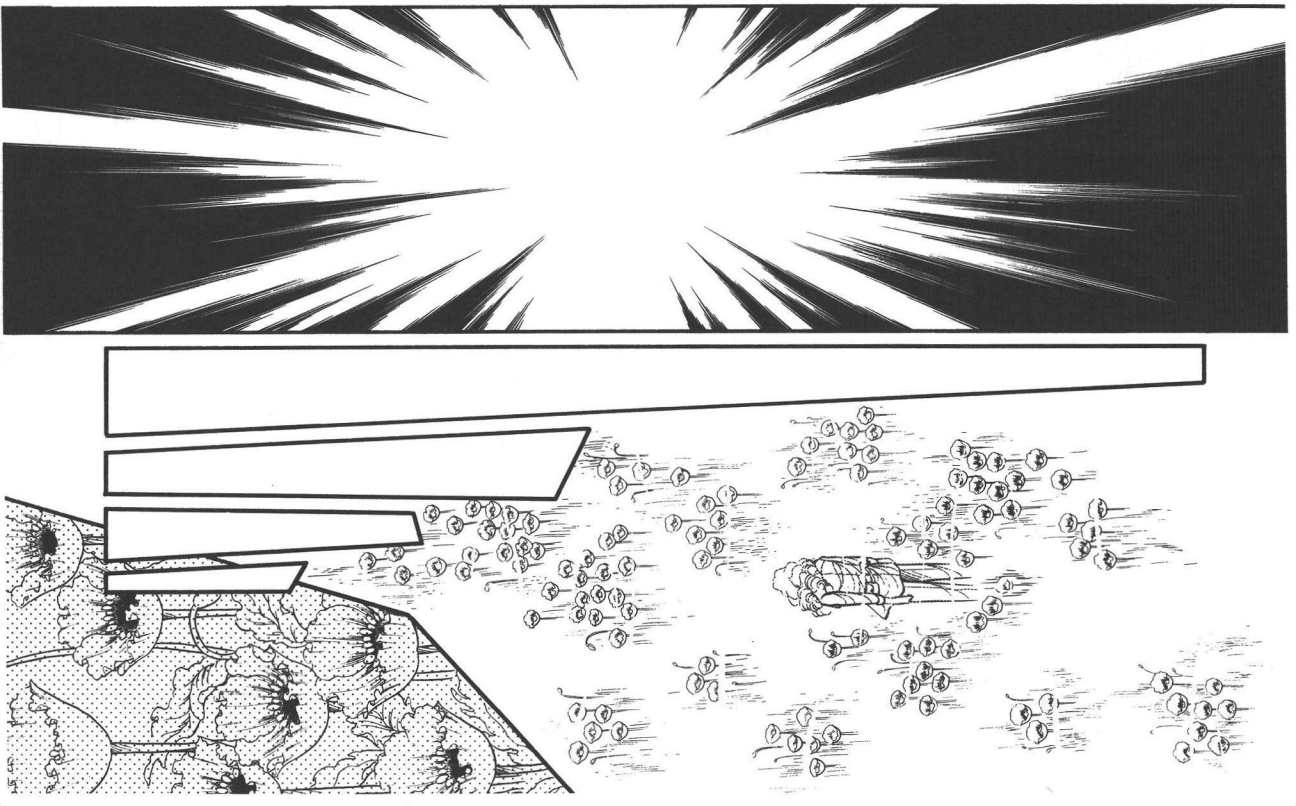

この香りは…?

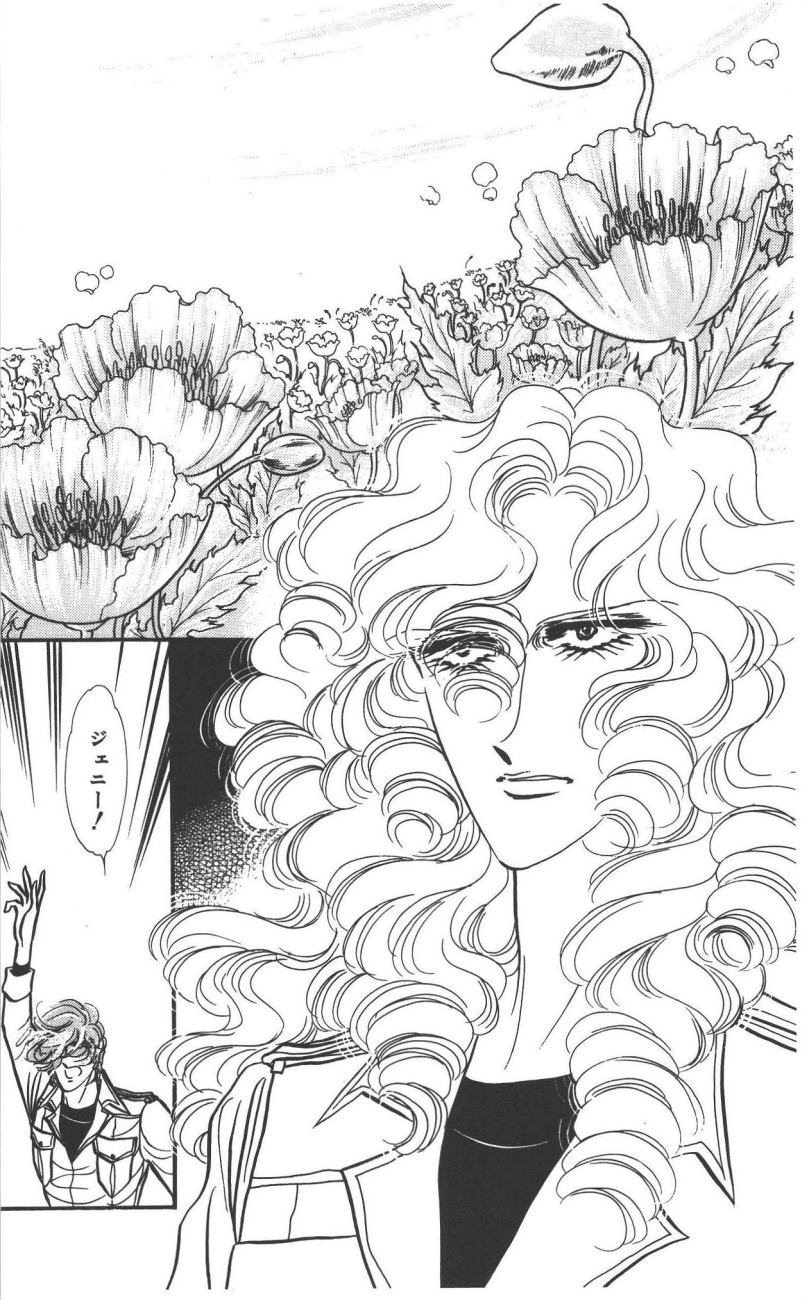

Mr.フランク・ジャクソン…？
何…？
部屋中に充満しているわ
いらっしゃらないのですか…？
Mr.フランク
この甘酸っぱい体にまとわりつくような…
ミスター…
ヒッ…


ミ…
ミスター…？
…いいか？


二人ずつ
砦を
囲むような
位置につけ
ジェニーからの
合図があったら
一斉に始める
ただし
本気でやる
必要はない
せいぜい
ハデな音をさせて
砦の目を「外」に
引きつけるんだ
その間に
ジェニー達が
脱出する
来た！
合図だっ!!


FIRE
!!




ジェニー！


どう？
フランク氏の
様子は？
ああ
あの
医者あがりっていう
ロバートって奴が
今診てるが…
ありゃあ
もうダメ
だな
完全に
廃人だ
一生
治らねェ…
やはり
…ね
ヘロインによる
重々度の
麻薬中毒症ね


…おそらく誘拐直後から投与されていたんでしょう
見張りが一人もいなかったワケだわ
麻薬漬けにしてしまえば逃げられる心配もないし
薬のためなら何でも言うことをきくようになる
そのかわり来るのは地獄のような禁断症状
極度の恐慌状態
やがては肉体の衰弱人格の崩壊
発狂
…死！
昔…
戦場で何人
そういう人間を見たかしらね
…
戦闘の凄惨さに死への恐怖に耐えられなくなった兵士達は
それから逃れるため次々に麻薬に手を出し
そして同じ穴に墜ちていった
…

軍の病棟で
もがき苦しみ
悲鳴をあげて
哀願をくり返す
彼らの声が

悪魔の産物

〝人間を滅す白い粉〟

今もまだ
私の耳にこびり
ついてるわ…

それがこんな美しい
花畑から作られる
モノなんて…

とても
信じられない
わ

大した
皮肉だわね

…おまえが
望むなら…
俺がこの世から
麻薬を
なくしてやるよ

そうだな
まず手始めは
黄金三角地帯の
芥子からだ

レッド？

ガソリンまいて
焼き払って…


お次は
中央アジアだ
パキスタン
アフガニスタン
それから
トルコの
アナトリア高原
中部から
東ヨーロッパ平原
ギリシア
アフリカ…
後は
中南米産の
コカイン…か
これだけ
やりゃあ…
レッド
…
なんだよ
俺は
本気だぜ
おまえの
命令なら
何だって
…
…麻薬は
確かに
劇薬
だけれど…
使い方さえ
間違わ
なければ
素晴しい
良薬に
なるわ
特にその
鎮痛効果は
医術治療には
欠かせない
力を
持っている
POPPY FATE

法律のワクを超えて
芥子を植えアヘンを採り
ヘロインを精製し
それを売りさばき
私服を肥やしてる
密売業者達も
確かに憎むべき存在
ではあるけれど…

ホラ！

実際に
芥子栽培に
従事する
地元の
部族民達

彼らは
採取したアヘンを
密売業者達に
売って細々と
暮らしているの

業者を根絶やしに
してしまったのでは
彼らは生きて
いけないのよ

ジェニー
…


一つの真実があれば
必ずその裏に隠された
もう一つの真実があるわ
どちらが
偽りでも
嘘でもない
両方真実
同じ重さを
持っている
正と負
表と裏
光と影
どちらを欠いても
成り立たない
等しく
半分と半分
それで一つになる
完全に
なるのよ


レッド
あなた
バンコクへ戻ったら
その足で米軍基地へ
出頭しなさい
ジェニー…


なぜだ!?
俺はもう軍にとっては
死んだ人間だぞ!
現在ここで
私の目の前で
生きてるわ
そんなこと
だまってりゃ
わかりゃ
しねーだろーが!!


いいえ
私といる限り
いずれバレるわ
あ…


そ…うか
おまえは
……
このままじゃ脱走兵として
捕えられて銃殺よ
自ら軍に帰隊し
理由を釈明して正規に
退役手続きを取りなさい


同じだよ
いくら捕虜にされ仕方なかったとは言え俺はソ連軍に一時加担してた人間だからな銃殺には違いない
そんなことはさせないわ!!
ジェニー…
大丈夫よ!
ジャクソンが手を廻してくれるわ!
そういう約束なんだから!!
ジャクソン……
じゃあ…おまえ…
今回の件を引き受けたのは…
俺のため…?
そうよ
これが成功報酬よ


さっき
私の望むことは
何でもすると
言ったわね
だったら
レッド…
レッド？
俺のために…
あ…
俺の…
アルフレッド…


軍司令部へ…
出頭してくれるわね？
NO！
やっとおまえに会えたんだぞ！
やっと！
やっとだ!!
レッド…
おまえ言ったな
なのにまた離れなくちゃならないのかよ!?
俺がこの数年どんなに…
俺はいやだ!!
真実は半分と半分で完全だと！
人間だって同じだ!!


人間は一人じゃ
生きられない!!
俺は見つけた
あの戦場で
地獄の闇に
浮かぶ
希望を
"炎の月"を!
おまえを!
魂の半分が
足りない!
必ず運命の
相方がいる!
ユージェニー・
ヴィクトリアを!
俺の半身を
見つけたんだ!!


おまえなしじゃあ
俺はもう生きていけない
離れるくらいなら死んだ方がマシだ!!
半身…
…愛してる…
私の半身…
愛してるんだ!!ジェニー
私の愛した半身は…


だまって聞いてりゃ…
今まで俺達が言いたくても言えなかった台詞ベラベラベラベラ…
てめェらに度胸がねェだけだ
!!うるせェ
ジェニーから離れろ!
もうガマンできねェ!!


面白ェ！
やれるもんならやってみな



止…止めて下さい！
素手でしょ？
放っといても大丈夫よ
で…でもあんな多勢に無勢が
レッドにはあれくらいのハンディがあってちょうどいいのよ
…わかったか？
う…
ごふ…
俺のじゃまはさせない
それが誰であろうとだ！
憶えとけ!!


じゃない
何？
あんた
だけじゃない
…
あんた
だけじゃない
！
俺達だって
ジェニーを
見つけた！
見つけ
たんだ!!
あんただけ
じゃないっ!!

おまえら…
愛してる
ジェニー…
愛している
ヴィクトリア…

私の愛したのは……

愛しているのは…

…よー あんた…

レッド…

何だ？

…なぜだ？

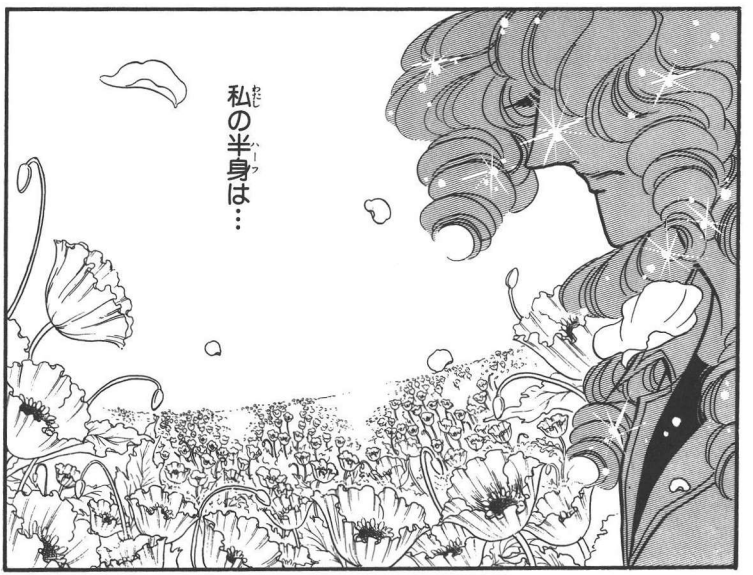
ジェニーの言う通り あんたさァ本当に出頭した方がいいぜ…


だってよ
あんたが脱走兵のままってことは側にいるジェニーにも迷惑がかかるってことだぜ
あんただって不本意だろーが！
…安心しな
あんたが戻って来るまでジェニーは俺達がみててやるよ
どこにも行かないように
守ってやるよ
二度とあんたが会えなくならないように


…だからさ
行ってこいよ
自由になるためにさ


だけどなァ
誤解すんなよ
！
あんたに
ジェニーを
渡すわけじゃねェ
俺達は
諦めるわけじゃ
ねーからな!!


フン！

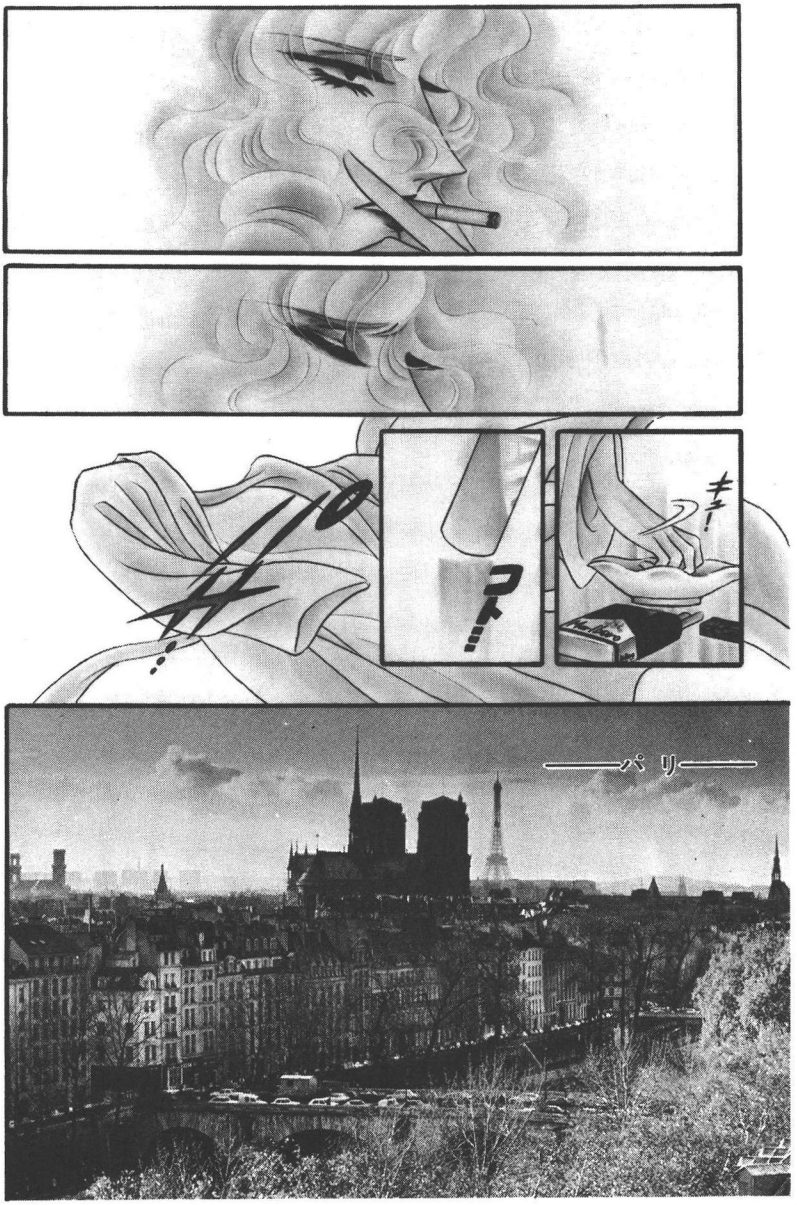

私の半身は…

HALF〈ハーフ〉／おわり



ジェニー・シリーズ番外編

off オフ


キラ!
――パ リ――

off—オフ—





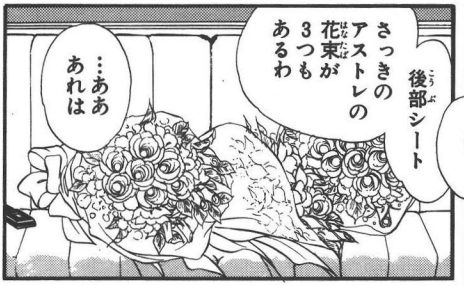

お…
遅くなっちゃった
！
まだ花市
開いてるかな!?


あった！
どれにしようかしら…
…そうね
そのピンクのバラを…
すみません！そのピンクのアストレを全部…
銀の髪——!!
くだ…さ…
い…

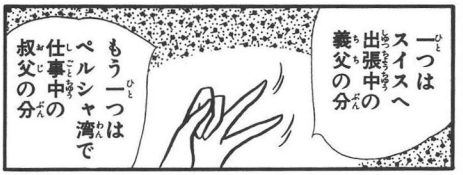

…
ううん
どなたかに
プレゼント？
銀じゃ
ない
…あ
え…え
今日が
誕生日な
もので…
まあ！
灰金髪
…でも
ない…
それじゃあ
譲らざるを
得ないわね
若い男の子が
乙女座の乙女に
贈る花を
横取りなんて
できないわ
白い…
髪…？
そんな…
それじゃ
あなたは…
いいのよ
花の種類に
こだわる人では
なかったから
なかった…？
Oui
Madame
そちらの
白いのを
お願い

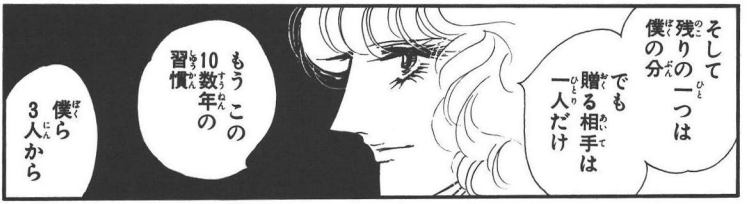

マダム！
どちらまでです？
どうぞお送りしますから
…結構よ
どうぞ…
……
…じゃあ
モンマルトル墓地までお願いできて？

off—オフ—


後部シート
さっきの
アストレの
花束が
3つも
あるわ
…ああ
あれは


同じ誕生日の
ガール
フレンドが
3人もいるの？
え？
ウィーン

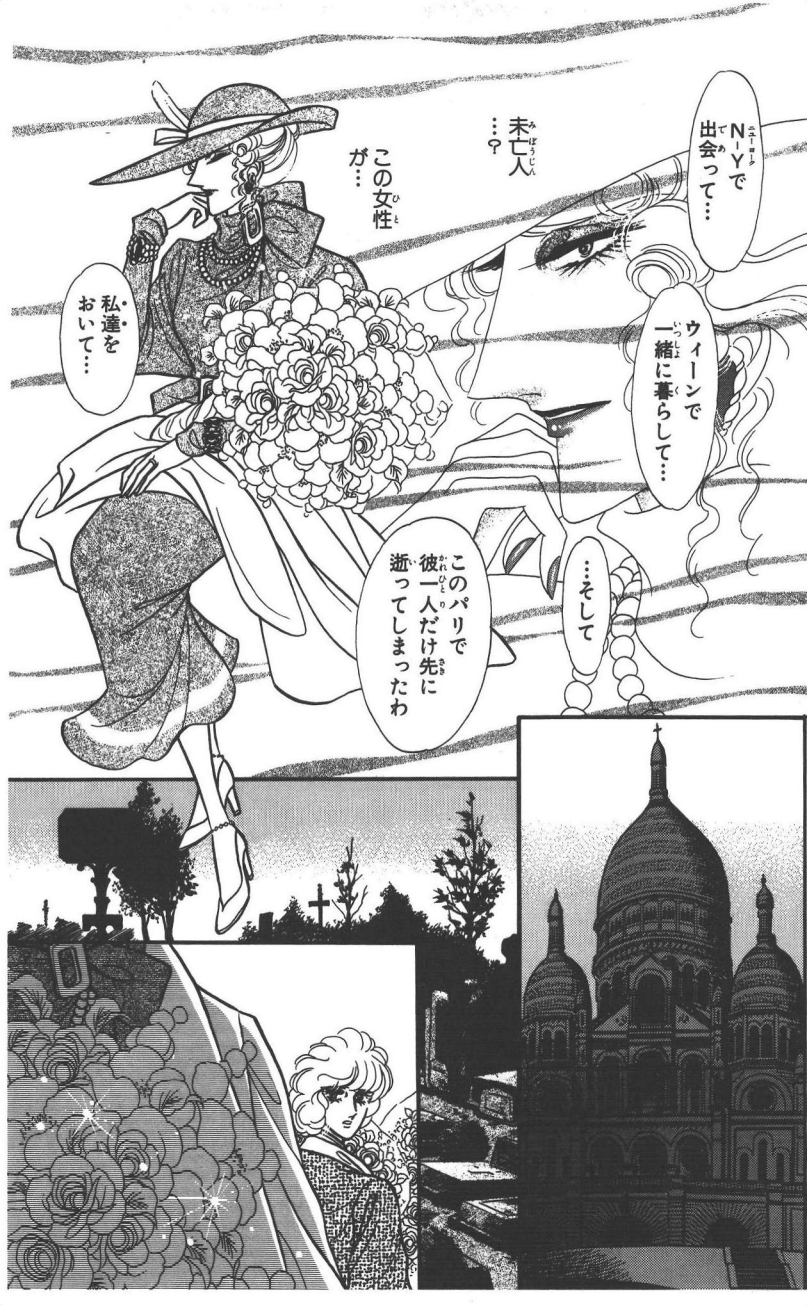

一つは
スイスへ
出張中の
義父の分
もう一つは
ペルシャ湾で
仕事中の
叔父の分


そして
残りの一つは
僕の分
でも
贈る相手は
一人だけ
もうこの
10数年の
習慣
僕ら
3人から


今年は
二人が留守
だから
僕が代表で
死んだ
義母に


僕もちょうど
モンマルトル墓地へ
行く所
だったんです


亡くなられた方へバースデイプレゼントを？
おかしいですか？
……いいえ…
いいえとてもステキね…もしも…
あなたのお母様がうらやましいわ…
もしも私が死んだなら…
あなたは？どなたのお墓参りに行かれるんですか？
…え？
毎年あの子が花をくれるかしら…
その…失礼ですがフランスの…
パリの方ではないようなので…
…夫のよ
ご主人…？
私も彼もアメリカ人よ
私はワシントン育ちで彼は天涯孤独の身の上で…

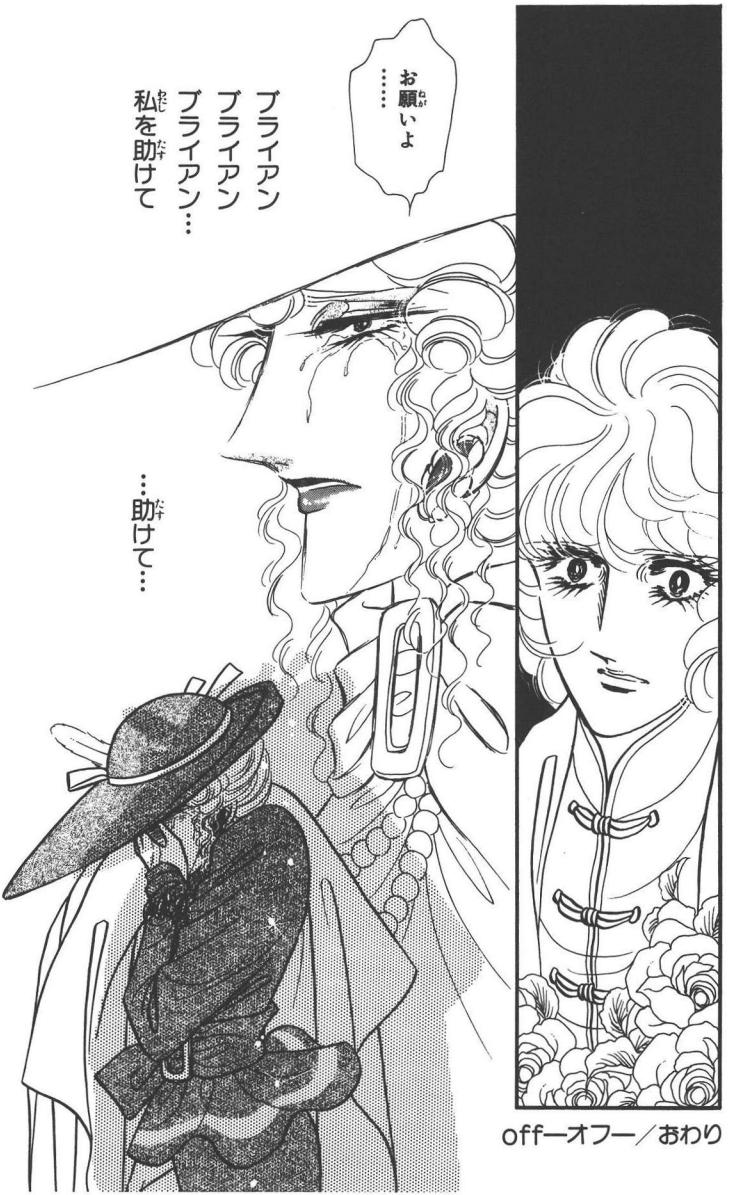

NーYで出会って…
ウィーンで一緒に暮らして…
…そして
このパリで彼一人だけ先に逝ってしまったわ
未亡人…？
この女性が…
私達をおいて…


フッ…
……
お兄さま…
…ブライアン・テイラー…
こんな所に…
パリで死んだのは知っていたが
ローリー
どうしてここが…


誰にも知られず
君が全くきれいに
行方をくらました
時は
おそらく
50%の確率で
ここだろうと
…誰が
そんなことを
…!?
…お父さんだ
お父さんからの
伝言だ
トリア
アルフレッド・
ロジャーズを
釈放して
欲しければ
君自身が彼の
身柄を引き取りに
ワシントンまで
出向いて来るように
――と
私に!?
ワシントンへ!?


そう…
君がだ
でなければ
ロジャーズは
一生
監獄暮らしを
することに
なる
ワシントン
へ…
アーリントン
へ
それは
…
お父さまの
命令…？
私を
ワシントンに
出向かせる
ために…
彼が銃殺に
なるよりは
マシだろう
懐かしい
あの屋敷の
お父さまの
もとへ
イヤよ
…
行かなければ
帰らないわ
レッドを
殺すと
言うの
…!?
帰りたくない！
…トリア
誰か
助けて！
少しは
お父さんの
気持ちも
考えて
差し上げたら
どうだ？
誰か
——!!
私の気持ちは
どうなるの
……!!


ね？
いいでしょ？
フラン
あなたには
エドと
リュシーの
分が
あるん
だから
今年の
僕の分
カンベンして
そのかわり
来年
倍
贈るから
ね!?
…
だって…
あの女性
だって
せっかく
選んだ
花なんだ
もの
マダーム！
それも
亡くなった
ご主人のために
あ！
いた
なのに
僕が
全部なんて
もらえない
マダム！
あの
やっぱり
この花
一つだけ
ですが
マ…



off―オフー／おわり

〈収録作品メモ〉
●クロス・メモリー　昭和62年　花ゆめEPO　JANUARY号掲載
●マハラージャ　昭和62年　花ゆめEPO　5月号掲載
●HALF〈ハーフ〉　昭和62年　花ゆめEPO　7月号掲載
●Off—オフ—　昭和62年　別冊花とゆめ　秋の号掲載

花とゆめCOMICS
クロス・メモリー

1988年2月25日　第1刷発行
2001年8月15日　第16刷発行

著者　河惣益巳
©Masumi Kawasō 1988
発行人　甘利博正
発行所　株式会社　白泉社
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2—2—2
電話・編集 03(3526)8025
販売 03(3526)8010
業務 03(3526)8020
印刷所　図書印刷株式会社

ISBN4-592-11892-8
Printed in Japan　HAKUSENSHA

●造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁（本のページの抜け落ちや順序の間違い）の場合はお取り替え致します。購入された書店名を明記して「業務課」あてにお送り下さい。送料小社負担にてお取り替えいたします。
●本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、上演、放送などをすることは、著作権法上での例外を除いて禁じられています。

9784592118923

ISBN4-592-11892-8

C9979 ¥390E

1929979003906

定価 本体390円+税

雑誌43770－96



花とゆめ COMICS

白泉社